

令和5年度公益財団法人せたがや文化財団の経営状況に関する書類の提出

1. 事業計画

世田谷文化生活情報センター / 生活工房		世田谷文化生活情報センター / 音楽事業部	
続・セタガヤマ展 小さなメディアの40年	(1月31日)～4月23日	シリーズ和・華・調	6年2月4日
牧野伊三夫展 塩と杉	5月16日～7月17日	せたがや音楽研究所	10月14日
映像のフィールドワーク展 vol.2 ひもをうむ、あむ、くむ、むすぶ	7月25日～10月22日	世田谷アーティスト支援企画 Discovery Setagaya Sounds	8月11日
編み機と、ニット 展(仮)	10月31日～6年1月21日	室内楽シリーズ	6月3日、7月1日、11月18日
共催展示 世田谷のまちと暮らしのチカラ まちづくりの歩み50年	6年1月31日～(4月21日)	せたがやジュニアオーケストラ	通年
生活工房常設展示	通年	せたがやまちかど・まちなかコンサート、連携コンサート、異分野とのコラボレーション ほか	
若年層向けセミナー「どう？就活」、親子向けセミナー「こども・おや・じぶん 親子関係を生きる君へ」 ほか			
世田谷文化生活情報センター / 世田谷パブリックシアター			
白井晃演出作品『ある馬の物語』	6月21日～7月9日	日・イスラエル外交関係樹立70周年 インバル・ピント『リビングルーム』	5月19日～21日
前川知大演出作品	11月7日～12月17日	海外招聘ダンス公演 Ate9『Exhibit B』『Calling Glenn』	6年3月
横山拓也作・瀬戸山美咲演出作品 『う蝕』(仮)	6年2月10日～3月7日	フリーステージ(音楽部門・ダンス部門・バレエ部門)、移動劇場「@ホーム公演」、学校のためのワークショップ、こどもプロジェクト2023『カラフル』『メルセデス・アイス』『せたがや夏いちらくご』『エアー～不思議な空の旅～』、アートタウン関連企画「フィアース5」、地域の物語 ほか	
森新太郎演出作品 『メディア/イアソン』	6年3月		
世田谷文化生活情報センター / 国際事業部			
せたがや国際交流センターの運営	通年	多文化理解講座	年8回
やさしい日本語でまち歩き	12月9日	地域活動団体との連携事業(イベント・講座などの合同実施、せたがや国際交流センターにおける団体紹介 ほか)	通年
にほんご交流会	年3回		
世田谷美術館		世田谷文学館	
麻生三郎展 三軒茶屋の頃、そしてベン・シャーン	4月22日～6月18日	石黒亜矢子展 ばけものぞろぞろ ばけねこぞろぞろ	4月29日～9月3日
マルク・シャガール 版にしろした光の詩	7月1日～8月27日	シーズン展示 「どっせい！ねこまたずもう～夏場所～」	7月22日～8月31日
土方久功と柚木沙弥郎 一熱き体験と創作の愉しみ	9月9日～11月5日	江口寿史展	9月30日～6年2月4日
倉俣史朗のデザイン 一記憶のなかの小宇宙	11月18日～6年1月28日	コレクション展前期 没後50年・椎名麟三と「あさって会」 ※設備不調のため会期を短縮	4月22日～8月6日
美術家たちの沿線物語 小田急線篇	6年2月17日～(4月7日)	コレクション展後期 衣裳は語る 映画衣裳デザイナー・柳生悦子の仕事	10月7日～6年3月31日
本館ミュージアム コレクション(前年度からの継続含め年4回)、各分館収蔵品展(年2回)	通年	ライブラリー「ほんとわ」の運営 「ほんとわラジオ」放送(エフエム世田谷)	通年
講座・ワークショップ、鑑賞教室 ほか		どこでも文学館(出張展示、ワークショップなどの教育普及事業)	通年
		ワークショップ、トークイベント、音楽イベント ほか	

※事業名称及び開催日程は最新の情報を掲載しているため、事業計画書の内容と異なる場合があります。

2 収支予算内訳表(損益計算書ベース)

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目		公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引 等消去	合計
		公1	公2	小計	収1	収2	小計			
		文化芸術の振興、 地域文化創造活動 の支援及び教育普 及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業		物品販売事業	飲食物提供事業				
I 一般正味財産の部										
1 経常増減の部										
(1)経常収益										
	基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	2,660,000		2,660,000
	特定資産運用益	773,000	0	773,000	0	0	0	0		773,000
	事業収益	1,480,761,000	316,000	1,481,077,000	30,717,000	3,183,000	33,900,000	0		1,514,977,000
	受取区補助金	1,237,239,000	42,802,000	1,280,041,000	0	0	0	0		1,280,041,000
	受取助成金等	162,417,000	0	162,417,000	0	0	0	0		162,417,000
	受取寄附金等	1,000,000	0	1,000,000	0	0	0	0		1,000,000
	受取負担金	6,023,000	0	6,023,000	336,000	5,938,000	6,274,000	0		12,297,000
	雑収益	119,000	0	119,000	0	0	0	0		119,000
経常収益計(A)		2,888,332,000	43,118,000	2,931,450,000	31,053,000	9,121,000	40,174,000	2,660,000		2,974,284,000
(2)経常費用										
	事業費	2,962,922,000	43,128,000	3,006,050,000	28,959,000	6,840,000	35,799,000			3,041,849,000
	管理費							8,624,000		8,624,000
経常費用計(B)		2,962,922,000	43,128,000	3,006,050,000	28,959,000	6,840,000	35,799,000	8,624,000		3,050,473,000
他会計振替前当期一般正味財産増減額(C)		△ 74,590,000	△ 10,000	△ 74,600,000	2,094,000	2,281,000	4,375,000	△ 5,964,000		△ 76,189,000
他会計振替額(D)		2,136,753	0	2,136,753	△ 1,022,650	△ 1,114,103	△ 2,136,753	0		0
法人税、都民税及び事業税(E)		0	0	0	321,405	350,069	671,474	0		671,474
当期一般正味財産増減額(F)=(C)+(D)-(E)		△ 72,453,247	△ 10,000	△ 72,463,247	749,945	816,828	1,566,773	△ 5,964,000		△ 76,860,474
一般正味財産期首残高(G)		560,966,789	7,739,518	568,706,307	121,894,178	15,395,086	137,289,264	△ 493,851		705,501,720
一般正味財産期末残高(H)=(F)+(G)		488,513,542	7,729,518	496,243,060	122,644,123	16,211,914	138,856,037	△ 6,457,851		628,641,246
II 指定正味財産の部										
	当期指定正味財産増減額(I)	0	0	0	0	0	0	0		0
	指定正味財産期首残高(J)	0	0	0	0	0	0	805,844,000		805,844,000
	指定正味財産期末残高(K)=(I+J)	0	0	0	0	0	0	805,844,000		805,844,000
Ⅲ 正味財産期末残高(L)=(H+K)		488,513,542	7,729,518	496,243,060	122,644,123	16,211,914	138,856,037	799,386,149		1,434,485,246

令和 5 年 度

公益財団法人せたがや文化財団

事業計画書

収支予算書

その他の付属書類

公益財団法人 せたがや文化財団

目 次

（事業計画書）

1. 令和5年度事業方針	1
2. 事業の体系	6
3. 事業計画	
(1) 世田谷文化生活情報センター生活工房	16
(2) 世田谷文化生活情報センター世田谷パブリックシアター	19
(3) 世田谷文化生活情報センター音楽事業部(せたおん)	26
(4) 世田谷文化生活情報センター国際事業部	28
(5) 世田谷美術館	30
(6) 世田谷文学館	35
(7) 財団共通	38

（収支予算書）

1. 収支予算（損益計算書ベース）	42
2. 収支予算内訳表（損益計算書ベース）	44

（その他の付属書類）

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類	51
-----------------------------	----

事業計画書

1. 令和5年度事業方針

コロナ禍は、未だに出口が見えないトンネルの中ではあるものの、国や都においても対策が緩和されてきており、区内でも246ハーフマラソンやボロ市などの年中行事も、ウィズコロナの中で徐々に再開され始めてきています。財団の令和5年度収支予算につきましても、経常収益、経常費用ともに前年度比で約7.6%、それぞれ2億1千万円を超える増となっています。

世田谷文化生活情報センターにおける区のワクチン集団接種の終了と、新たな世田谷区民会館の開館により、本来のホームグラウンドが戻ってくる令和5年度、財団は、コロナ禍の中で創意工夫により始まったオンラインによる事業展開をより充実させるとともに、休止や自粛をしていた事業の再開、開設の可能性を探ってまいります。例えば、生活工房は、区内のまちづくりに寄与してきた団体等との共催事業をワクチン接種会場であったワークショップルーム他で開催し、音楽事業部は、世田谷区民会館の柿落としを区内団体や区民の多くの皆さまとともに寿ぎます。さらに、世田谷パブリックシアターの舞台説明会、世田谷美術館の対面による事業、世田谷文学館の特別パスポートの導入などの取組みの再開、新設を目指してまいります。

財団は、昨年度、「コンプライアンス方針」及び「女性活躍推進行動計画」並びに「次世代育成支援対策推進行動計画」を策定し、持続可能な財団経営に向けた課題の解決を図るべく、働きやすい職場の実現と公正な業務の遂行に努めてまいりました。今後も、これまでの成果を検証しながら、労働環境の整備等により、効率的で効果的かつ公正な業務遂行・事業展開を目指してまいります。

諸物価高騰も重なり、予算としても、事業を行う環境としても、さらに厳しい状況が続いていくことと思われます。そのような中であっても、文化・芸術は、人々の相互理解の土壌を醸成し、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成するものです。時々の状況に応じた工夫を重ねながら各事業を展開し、文化・芸術が持つ力とともに、財団が有するその社会的役割を果たしてまいります。

《世田谷文化生活情報センター》

世田谷文化生活情報センターは、生活デザインを提案する「生活工房」、演劇とダンス公演を主に展開する公共劇場「世田谷パブリックシアター」、親しみやすく良質な音楽を提供する「音楽事業部」、外国人支援や交流を担う「国際事業部」の4部門からなり、令和4年度に開館25周年を迎えました。

区民の文化向上に寄与する創造的な文化施設であり続けるため、今後も地域の方々との関わりや幅広い分野とのコラボレーションを重視し、公演、展示、教育普及など様々な事業を展開するとともに、区の施策と連携しながら多文化共生の取組みも進めてまいります。

また、新型コロナウイルスの行動制限のなか始まった公演の映像記録等の動画配信や、オンラインを併用したワークショップの実施などの新しい取組みを継続し、オンラインを活用して施設に出かけることが難しい方や文化・芸術に触れる機会のなかった層にも鑑賞や参加の幅を広げてまいります。

なお、キャロットタワー5階事務室における天井内配管の更新工事のため、5階セミナールーム、4階ワークショップルームは、5月初旬から7月初旬まで利用休止となる予定です。

・生活工房

生活工房では、日常業務としてセミナールーム、ワークショップルーム、市民活動支援コーナーの施設管理運営を行いながら、区民の暮らしに身近な文化施設として、デザインやアート、生活文化を独自の視点で掘り起こす「展覧会」「ワークショップ」「セミナー」等を実施します。

令和3年度から約2年にわたり4階ワークショップルームで行われていた世田谷区のワクチン集団接種が終了し、4階ワークショップルーム A・B とコミュニティキッチンの利用が再開することから、引き続き財団内部での有機的な連携を進めるとともに、大学や市民活動団体等とも連携し、施設全体を有効に活用していきます。合わせて、オンラインや動画配信コンテンツの充実を図り、積極的な情報発信に取り組みます。

生活工房ギャラリーでは、塩田や林業など、自然と人間をつなぐ営みについて、画家・牧野伊三夫の作品を通して考える展覧会や、令和元年に開催した映像のフィールドワーク展の第2弾として、夏休み子どもワークショップを兼ねた展覧会、家庭用編み機の歩みとニット・クリエイターによる表現を紹介する「衣」にまつわる展覧会を開催します。また、全国からも注目される世田谷独自のまちづくり文化の歴史を辿る展覧会を、世田谷トラストまちづくり他との共催により、生活工房ギャラリーとワークショップルーム B を併用して開催します。

さらに、施設の利活用を促進し、利用者のすそ野を広げるため、大学や市民活動団体等と共催し、生活やデザイン、社会課題の解決等にかかわる様々な催しを行います。

・世田谷パブリックシアター

公演事業として、優れた舞台作品の創造発信。国内交流・国際交流のネットワークの構築。日本文化を再認識し、国際文化交流を意識した事業の展開。

普及啓発事業として、文化芸術の体験、支援、教育および発表機会の提供。地域・行政との連携および協働。地域交流の活性化。

人材育成事業として、専門家、技術者、アーティストなど、次代を担う人材の育成。観客、劇場支援者の開拓、育成などを進めてまいります。

鑑賞機会の整備としては、各種割引制度の設定、託児サービスや障害者のための車椅子スペースの確保など様々な来館者サポートを実施します。また、新型コロナウイルスの影響により休止していた舞台説明会などのサービスについても状況を見つつ再開の可能性を探っていきます。さらに、英語による情報発信を強化するなど、多言語対応を着実に進めます。

劇場ホームページをリニューアルしてより効果的な広報のための基盤を整備するとともに、SNSなどの新しいメディアも活用した広報宣伝活動を通じて区内外に情報を広く周知し、地域の劇場／創造発信型劇場としての存在意義を高めるブランディング活動を実施します。さらに、これら事業の充実した達成に向けて、国や公共機関、及び民間企業等の助成や協賛の獲得を積極的に働きかけるよう努力を続けてまいります。

今後も、舞台芸術が持つ力と、劇場という場が備えている力を活用して、誰もが等しく芸術に親しみ、共有できる事業の展開を目指してまいります。

・音楽事業部(せたおん)

新しい世田谷区民会館が開館します。せたおんの持ち味を活かした記念事業を開催します。まず、日本の伝統音楽を紹介する「シリーズ和・華・調」の特別版。新作の初演と歌舞伎舞踊の2本立てで、柿落としを寿ぎます。次いで、支援している2団体、世田谷フィルハーモニー管弦楽団と世田谷区民合唱団の共演。人見記念講堂で毎年恒例となっている「せたがや名曲コンサート」出演の選抜メンバーが、「第九」を演奏します。続いて、区民参加型の「区民チャレンジ・ライブ」。広い会場を得て、愛好家のみなさん多数にご登場願います。そして、せたがやジュニアオーケストラは、待望の新しいホームグラウンドでの定期演奏会、連携オーケストラである東京フィルハーモニー交響楽団との共演も実現します。加えて、前日に東京フィルハーモニー交響楽団による特別コンサートも実施します。

また、せたがやジュニアオーケストラは、小編成のアンサンブル演奏で「オータムコンサート」を実施するだけでなく、姫路市へ演奏旅行に出かけ、同市のジュニアオーケストラと共演します。北沢タウンホールを舞台に昨年度始めた「ミュージック・ラウンジ」は好評を得て、引き続き2回実施します。おなじみの公演では、「室内楽シリーズ」を成城ホール2回、玉川せせらぎホール1回開催。池辺晋一郎音楽監督の「異分野とのコラボレーション」は烏山区民会館、宮川彬良スペシャル・プロデューサーの「せたがや音楽研究所」は玉川せせらぎホール、3年目を迎え、早くも人気の「世田谷アーティスト支援企画」はシアタートラムといったように、区内各地で展開していきます。そして、内容を刷新した「まちかど・まちなかコンサート」は、さらに区民に身近なものになっていくよう、改良を進めます。

“ウィズコロナ”の時代、区民のみなさんの暮らしが、“ウィズ・ミュージック”となることを願い、せたおんのモットーは、「もっと近く、もっと広く」です。

・国際事業部

人々が互いの文化の違いを認め合い、対等な関係の中で共生していけるよう、次の取組みを進めていきます。

せたがや国際交流センター(クロッシングせたがや)では、主に外国にルーツをもつ人、地域で暮らす人々に、必要な情報を提供するとともに、「困った」「交流がしたい」といった声に応えるために運営をします。

国際交流活動団体の支援では、外国人に対する支援がスムーズにできるよう、団体間のネットワークの拡充、活動の活発化や相乗効果を高めてまいります。また、地域団体や学校が行う国際交流などの活動紹介を、国際交流センターの場を活用して行っていきます。

区民の方々が、国籍による、また、性別や育てられた環境等が異なることによる文化の違い、考え方の違いなどを学び、世田谷区で生活する同じ地域住民として、共に活躍しながら生きていくことができるよう「多文化理解講座」を開催します。また、「にほんご交流会」や「やさしい日本語でまち歩き」など、外国人と日本人が、やさしい日本語を用いて交流できる場を提供してい

きます。

これらの活動を通して、区民の方々がその多様性を認め合い、より多くの方の意欲と能力を活かしていける地域社会づくりに取り組んでいきます。

《世田谷美術館》

令和5年度は、これまで培ってきた新型コロナウイルス対策を踏まえ、自粛してきた対面事業についても、状況を鑑みながら従来の事業内容と規模に近づけられるよう工夫してまいります。

令和5年度の展覧会事業は、他館との協力関係を活かすとともに、これまで収集してきた収蔵品を活用した展覧会を開催します。企画展では、前年度から続き、4月9日まで開催のコレクション選「わたしたちは生きている！セタビの森の動物たち」の後、世田谷ゆかりの画家・麻生三郎の戦後から25年間、三軒茶屋にアトリエを構えていた時代に焦点を当てるとともに、彼が収集したベン・シャーン^{ベン・シャーン}の作品も紹介する「麻生三郎展 三軒茶屋の頃、そしてベン・シャーン」を6月中旬まで開催いたします。7月から8月末にかけては、神奈川県立近代美術館所蔵のシャガールの色彩豊かな版画作品などを紹介する「シャガール 版にしるした光の詩——神奈川県立近代美術館コレクションから」を開催します。9月から11月頭までは、コレクション選の「土方久功と柚木沙弥郎——熱き体験と創作の愉しみ」を開催します。パラオやサタワル島で過ごした日々を絵や彫刻作品にした土方久功と100歳を超えても精力的に創作活動続ける柚木沙弥郎の異色の組み合わせの二人展です。11月下旬から1月末までは、傑出したインテリアデザインなどで世界的にも評価の高いデザイナーの仕事を紹介する「倉俣史朗のデザイン——記憶のなかの小宇宙」を京都国立近代美術館、富山県立美術館と協力して開催いたします。2月中旬から次年度頭にまたがって開催するコレクション選「美術家たちの沿線物語 小田急線篇」は、2階の展示室で開催するミュージアム コレクション「美術家たちの沿線物語 京王線・井の頭線篇」と併せて楽しめる企画で、世田谷の地域文化の層の厚さをご紹介できる企画です。ミュージアム コレクションは、このほか魅力ある切り口で2本の企画を実施します。また分館3館においても、それぞれ2本の展覧会を開催します。特に、向井潤吉アトリエ館が開館30周年、清川泰次記念ギャラリーが開館20周年の節目の年であることから、この2館では無料開館日を設定するほか、関連企画なども実施いたします。

普及事業では、感染症対策を講じながら、少しずつ対面による事業を増やしていきます。成人講座「美術大学」では様々な工夫を行い、定員数、授業のコマ数を増やし、従来の事業に近いかたちを目指します。そのほか、状況に応じて臨機応変に対応策を講じながら、講演会やコンサート、パフォーマンス事業なども開催する予定となっております。

コロナ禍にあっても、安心してご来館、ご参加いただける環境を整備し、事業内容を拡充し、幅広くアートに親しんでいただける機会を提供します。

《世田谷文学館》

令和5年度の世田谷文学館は、多様なニーズに応え、昨年度から取り組んできたリアル／オンライン2方向の事業展開をさらに進めていきます。

企画展は大型展覧会2本を実施します。「石黒亜矢子展 ばけものぞろぞろ ばけねこぞろぞろ」は、絵本作家・画家として活躍する石黒亜矢子、初の大規模展覧会です。また「石黒亜矢子」展と連動したシーズン展示「どっせい！ねこまたずもう～夏場所～」を開催し、夏休み期間に親子で楽しめる空間をお届けします。「江口寿史展(仮称)」は、『ストップ！！ひばりくん！』などのギャグ漫画で一世を風靡、「彼女」と呼ばれ愛される〈女の子〉のイラストで絶大な人気を誇る漫画家・イラストレーター江口寿史の原点に迫ります。本展は漫画にスポットを当てた、当館ならではの展覧会となります。

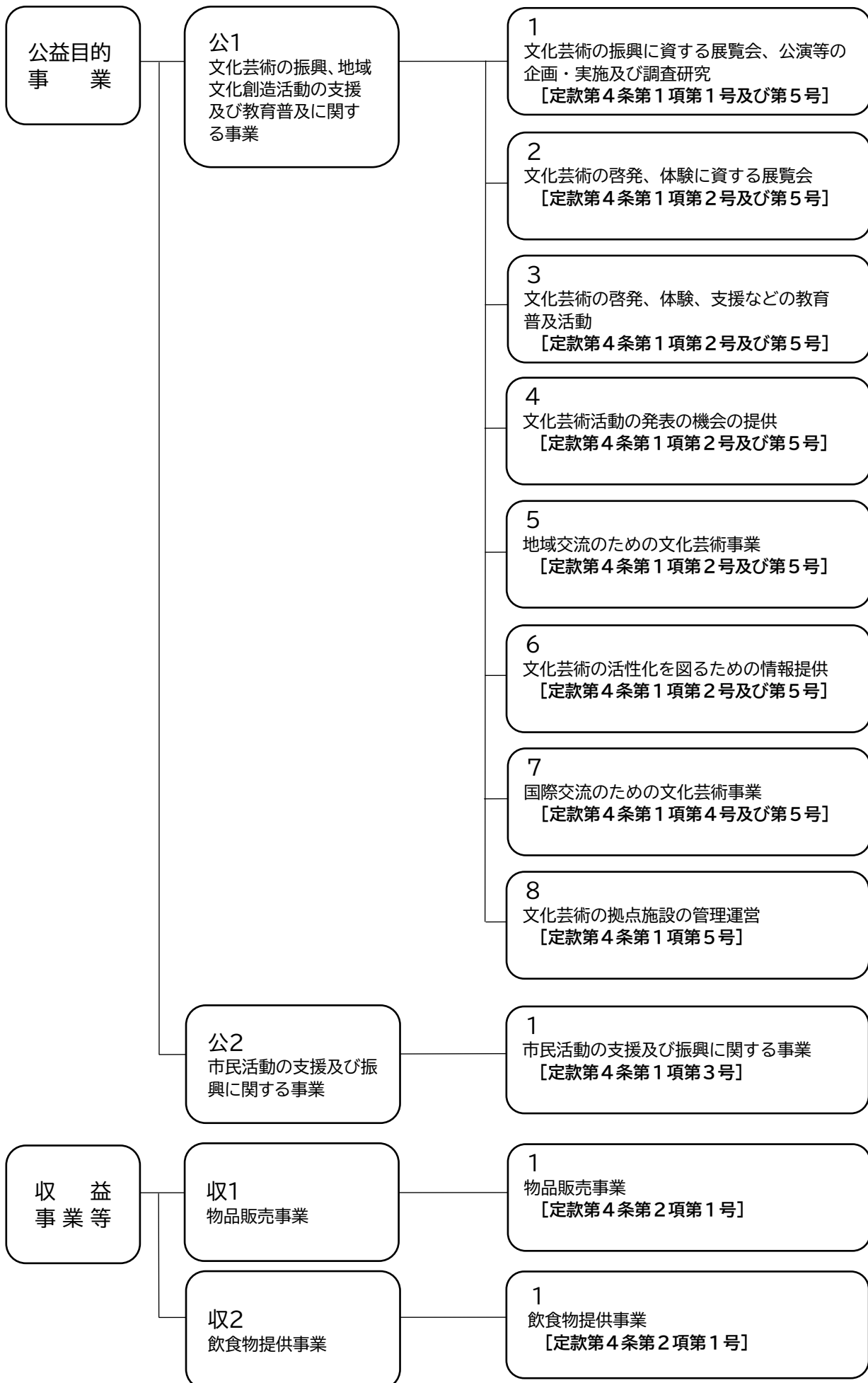
コレクション展は「没後50年・椎名麟三と『あさって会』」、後期は「映画衣装デザイナー・柳生悦子の仕事」を開催、いずれも文学・文化史上貴重な所蔵資料をご紹介します。教育普及事業では「どこでも文学館」を継続し、全国展開を始めた出張展示、区内学校・施設等で開催するワークショップなども積極的に展開していきます。

本年度の重点事業としては、所蔵資料の調査研究をまとめた資料集の刊行に着手します。第1集は、石川淳・椎名麟三・梅崎春生関連資料を中心に、戦後日本文学の要となる資料をご紹介します。

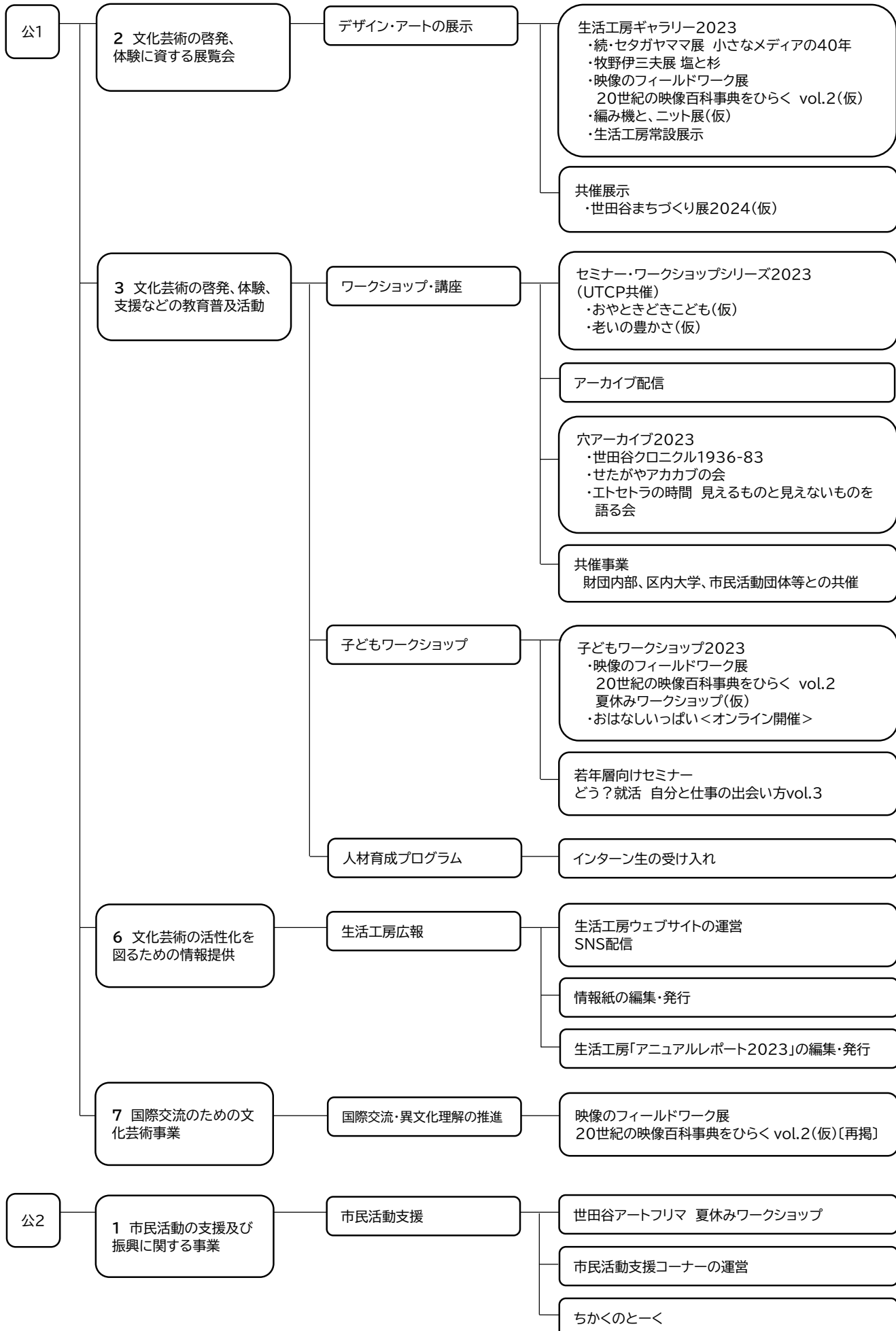
ポスト・コロナを見越して実施してきたオンライン事業も、一層の充実を図ります。文化芸術への関心は多様化し、きめ細かな事業展開が望まれる中、文学を軸としながらもジャンルの枠を超えた「セタブン」らしいコンテンツ制作と配信を拡充します。

また、利用者のみなさんに、より充実したサービスを提供するために、「セタブン特別パスポート事業(仮称)」の導入を新たに計画しております。本年度も「もっと、いつでも、どこでも、だれでも」。年間を通じて楽しめる場所・存在として、活動してまいります。

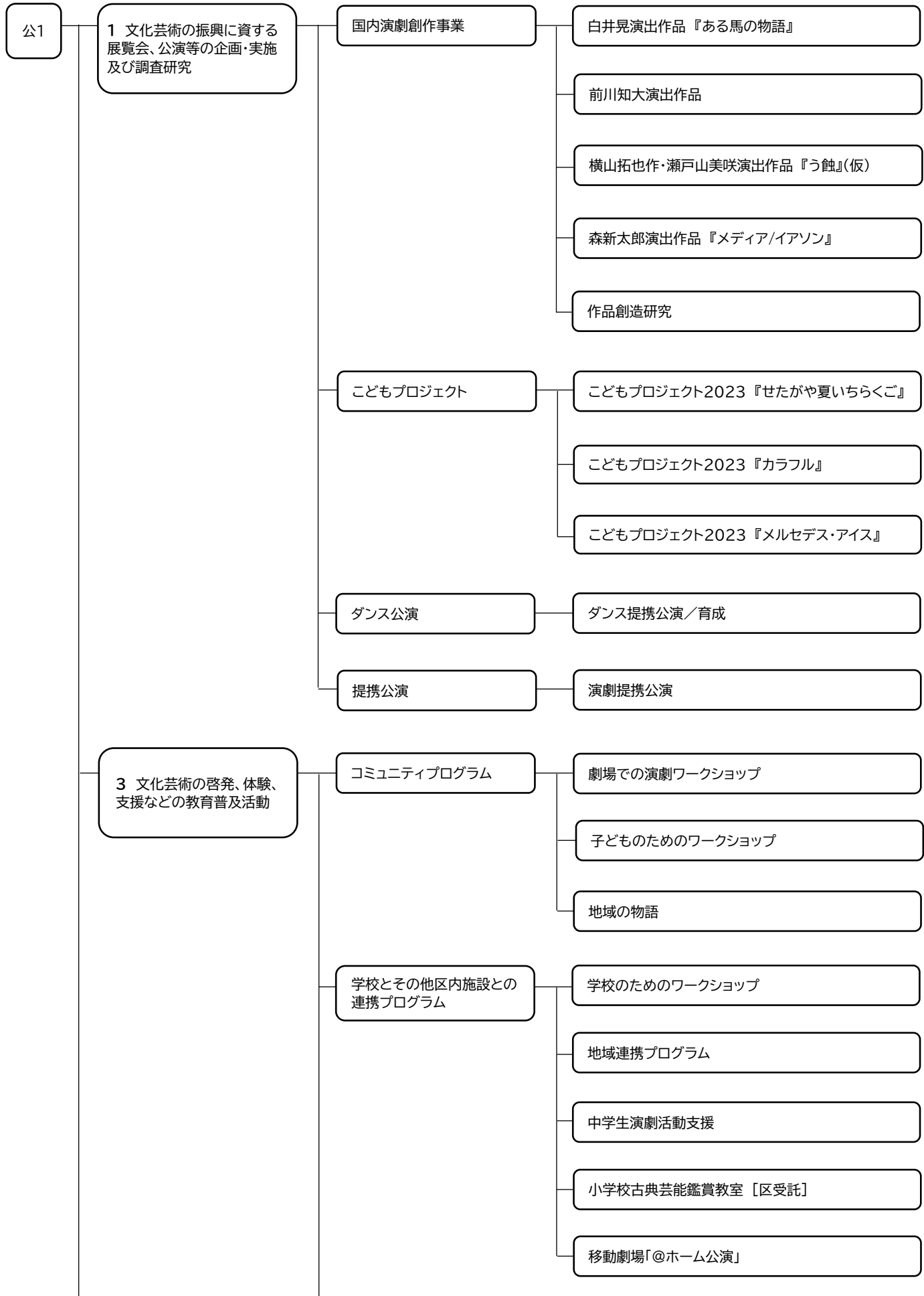
2. 事業の体系

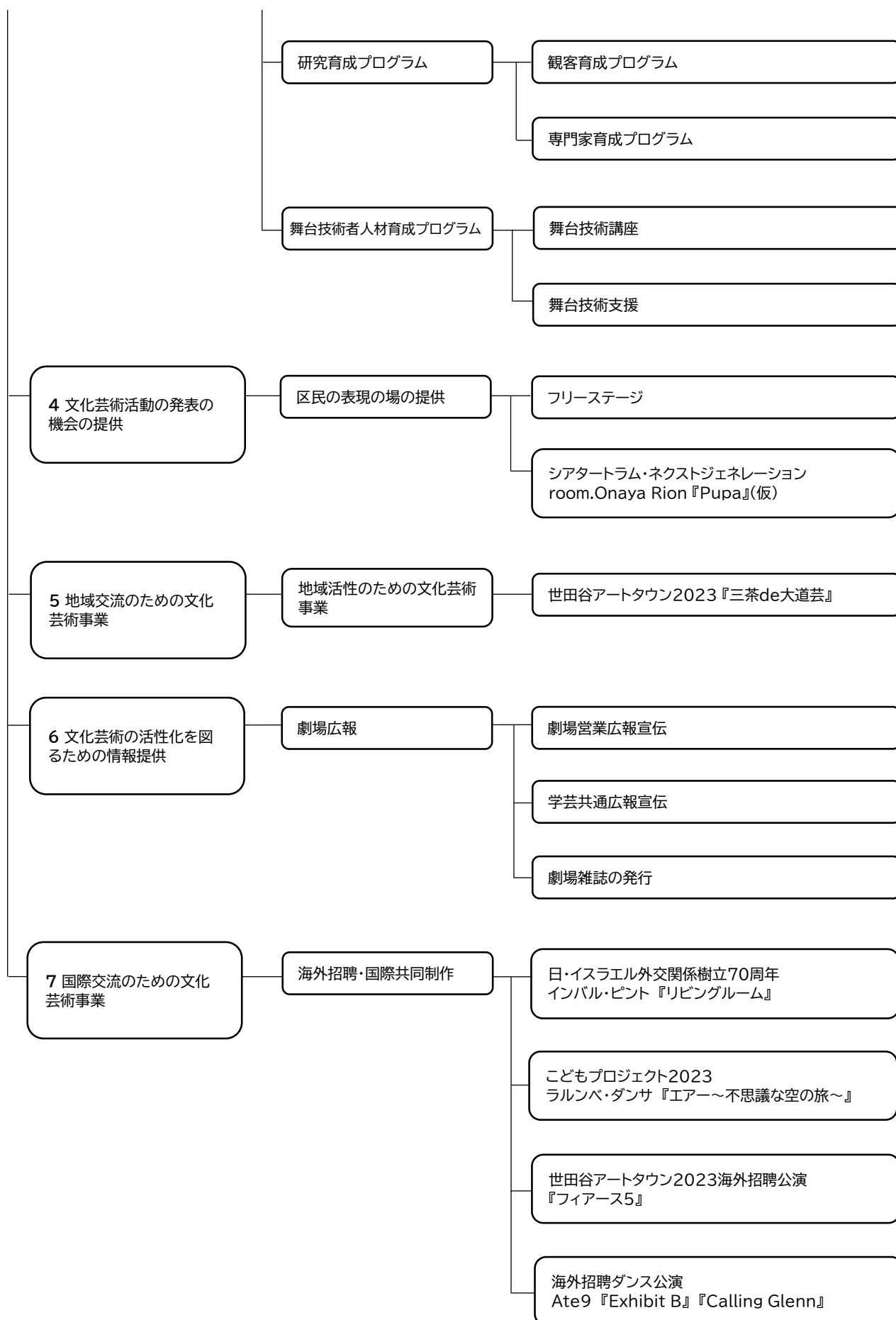


事業の体系 世田谷文化生活情報センター 生活工房

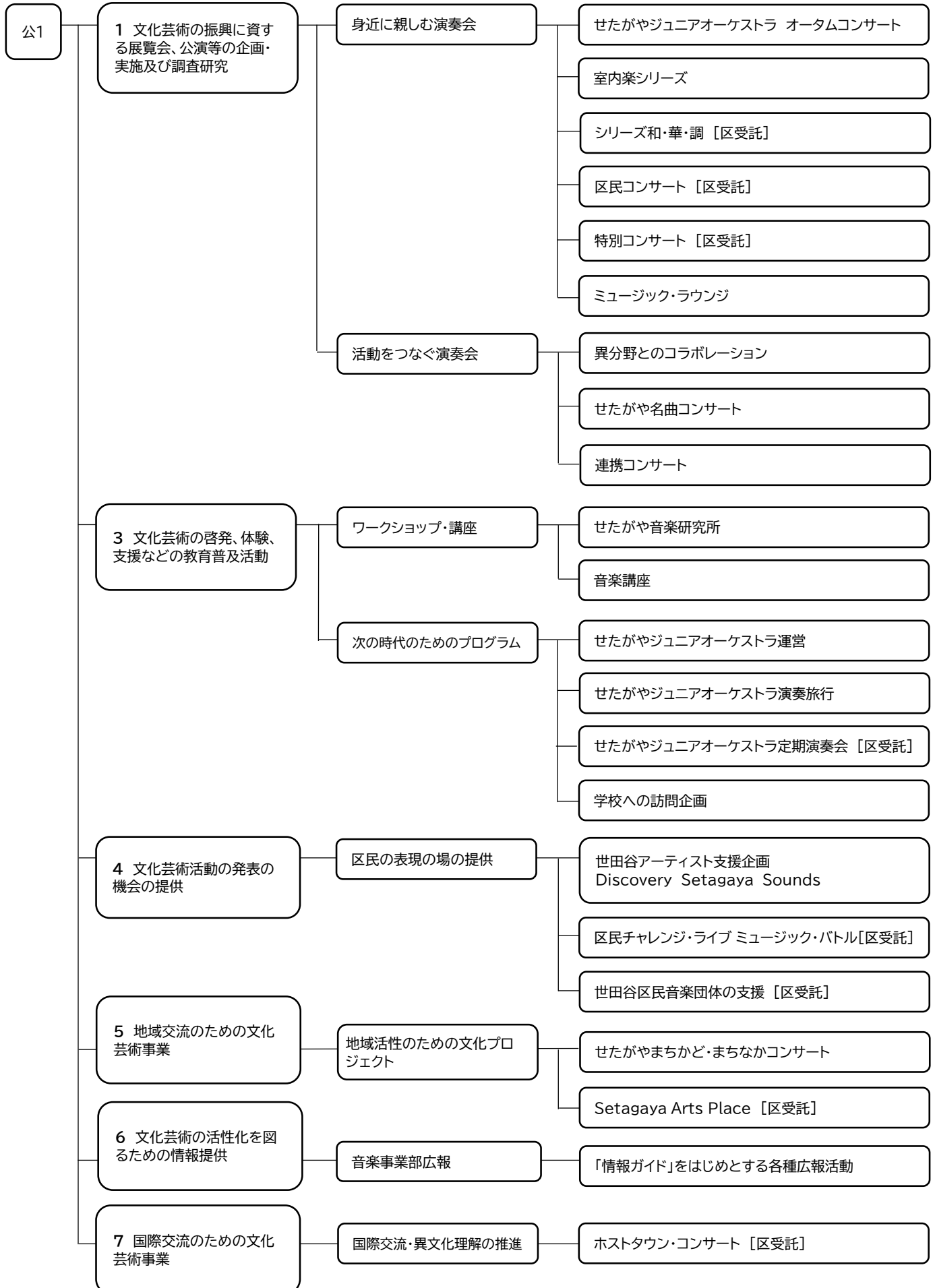


事業の体系 世田谷文化生活情報センター 世田谷パブリックシアター

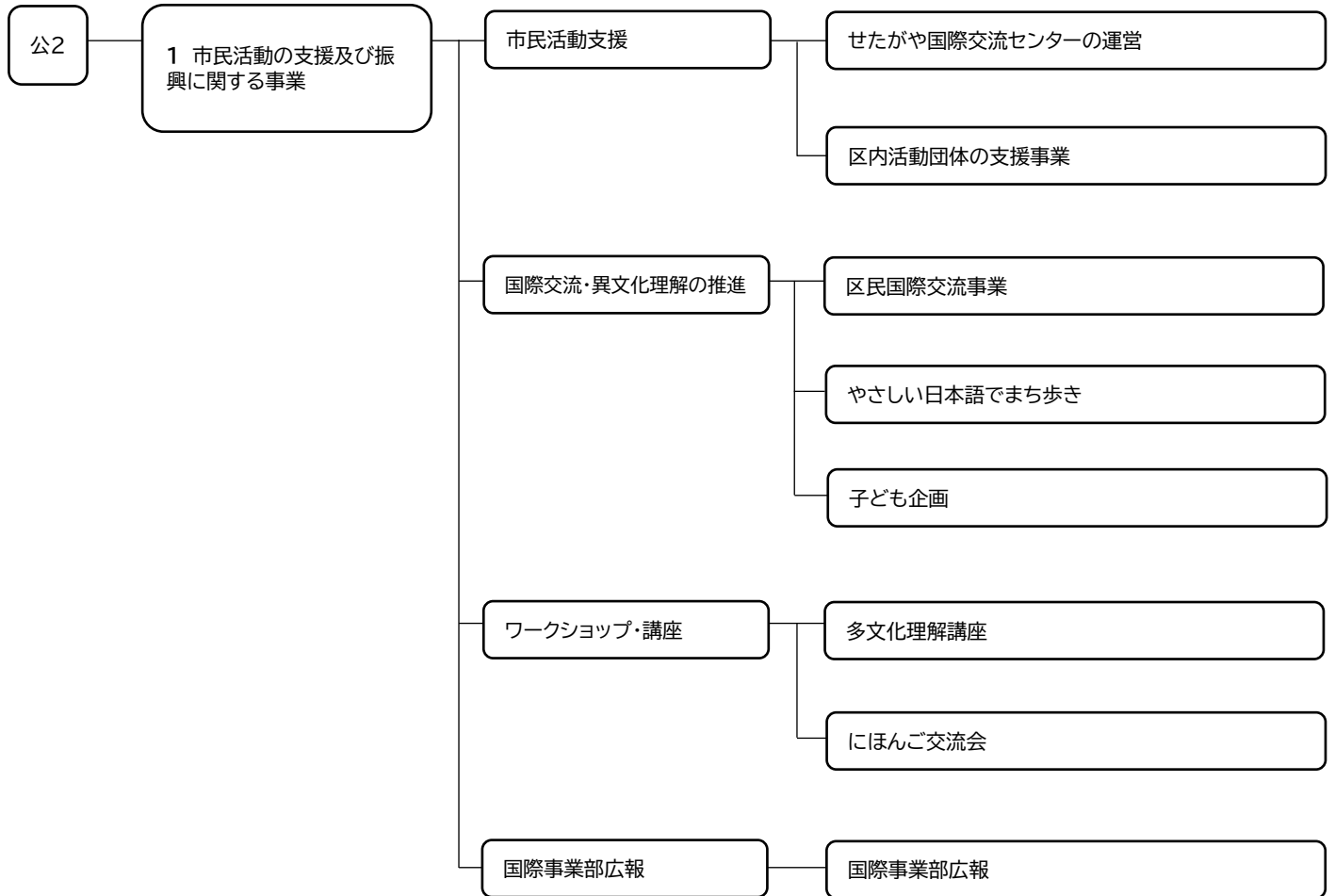




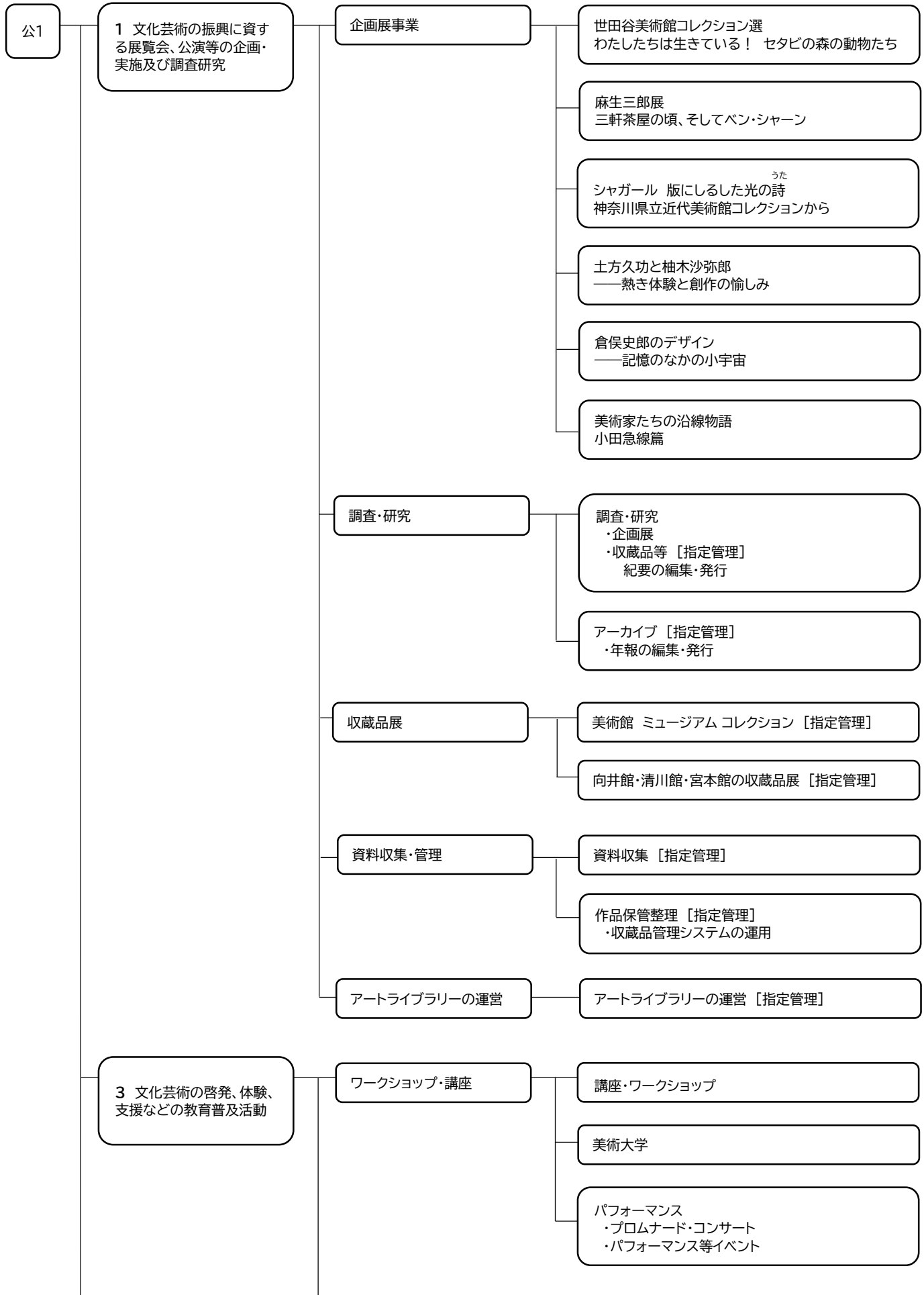
事業の体系 世田谷文化生活情報センター 音楽事業部(せたおん)

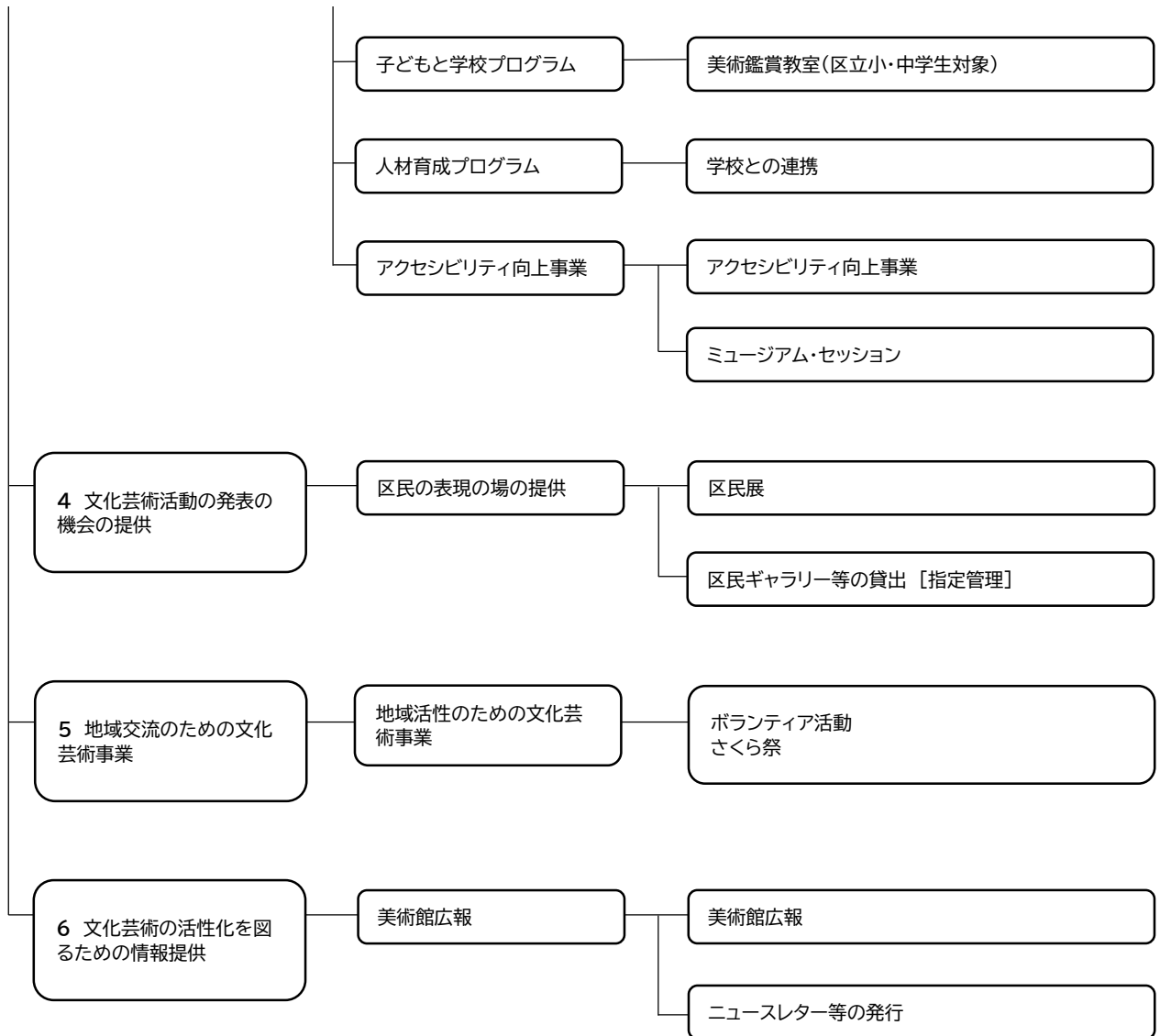


事業の体系 世田谷文化生活情報センター 国際事業部

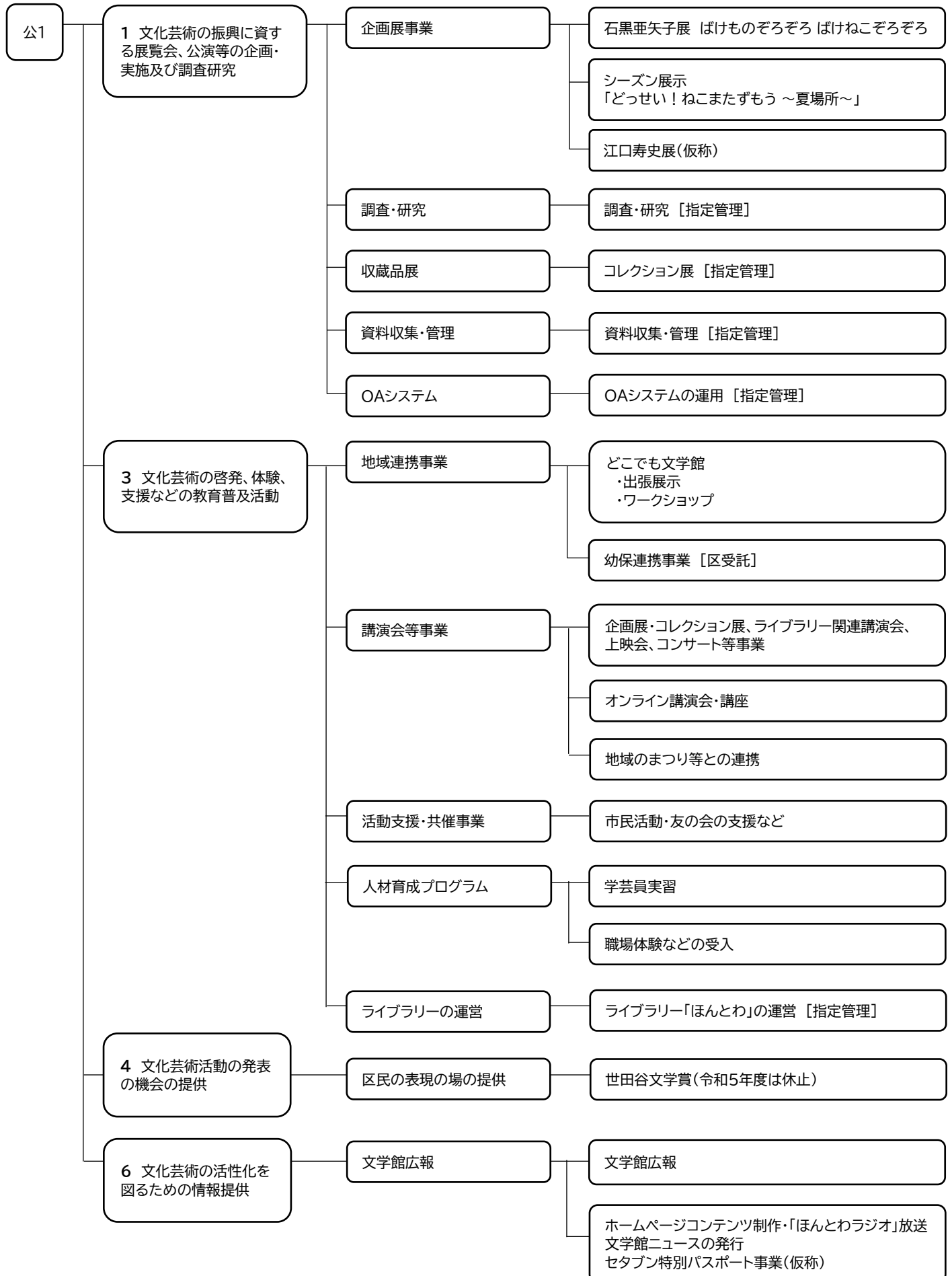


事業の体系 世田谷美術館

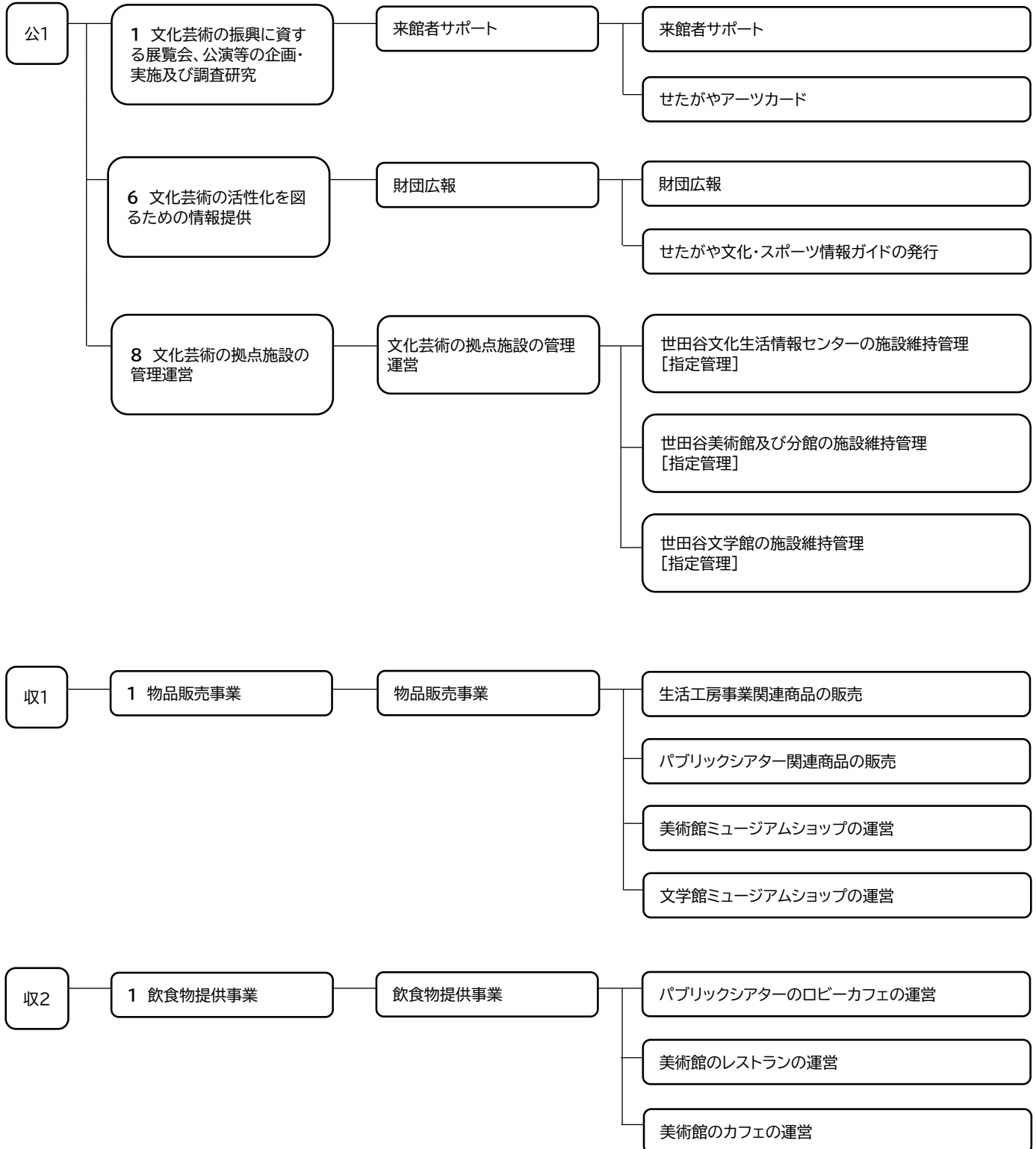




事業の体系 世田谷文学館



事業の体系 財団共通



3. 事業計画

(1)世田谷文化生活情報センター 生活工房

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
デザイン・ アートの展示	【生活工房ギャラリー2023】	地域の暮らしから異文化理解まで、幅広いテーマの展示事業を、生活工房ギャラリーで実施。関連してトークイベントやワークショップも開催。			
	続・セタガヤママ展 小さなメディアの40年	1970年代後半から、世田谷区にあったコミュニティ・スペース「セタガヤ・ママ」を中心に発行されたガリ版印刷のミニコミや、微弱電波を活用したミニFMなど、小さなメディアの活動を紹介する展覧会。	2,500人 (総計: 8,000人)	(1月31日)～ 4月23日	生活工房ギャラ リー他
	牧野伊三夫展 塩と杉	塩田や林業など、自然と人間のあいだをつなぐ営みについて、画家・牧野伊三夫の作品や関係資料を通して考える展覧会。	15,000人	5月16日～ 7月17日	生活工房ギャラ リー他
	映像のフィールドワーク展 20世紀の映像百科事典をひらく vol.2 (仮)	ドイツで生まれた映像の百科事典「エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ」が記録した生命の営みを、未来に向けてひも解く展覧会の第二弾。映像を通して、夏休みの子どもたちの、世界への好奇心や探求心を引き出す。	15,000人	7月25日～ 10月15日	生活工房ギャラ リー他
	編み機と、ニット 展(仮)	かつてミシンとならぶ定番の家庭用品だった「編み機」。萩原まさが発明してから100年目を迎える本年、プロダクトとしての家庭用編み機や、現在も編み機を用いているクリエイターの作品を紹介。	15,000人	10月24日～ 2024年 1月21日	生活工房ギャラ リー他
	生活工房常設展示	生活工房で実施した展覧会やワークショップを記録した写真、映像、資料などを公開し、閲覧できる可動的なコーナーで紹介する。	50,000人	通年	生活工房3Fロ ビー
ワークショッ プ・講座	共催展示 世田谷まちづくり展2024(仮)	世田谷トラストまちづくりと開催する展覧会。1975年頃から現在まで連綿とつづく、区内各地行われた「まちづくり」の歴史を豊富な資料や再現模型とともに辿る。	10,000人	2024年 1月31日～ (4月21日)	生活工房ギャラ リー、ワークショッ プルーム他
	【セミナー・ワークショップシリーズ2023】	東京大学大学院総合文化研究科・教養学部に附属する《共生のための国際哲学研究センター(UTCP)》とともに、「インクルーシヴ」をテーマにゲストを招きセミナーを通年で開催する。			
	おやときどきこども(仮)	親と子、双方の関係性について鋭い視点で切り込む数々の著作がベストセラーになるなど、教育分野で注目を集める鳥羽和久氏を迎えて開催する親子向け「講演会&対話」	50人	10月	ワークショップ ルーム他
	老いの豊かさ(仮)	天才作曲家ベートーヴェンが老年期に迎えた音楽の境地とはどんなものだったのか作品の魅力を解説しながら「老い」がもたらす豊かな人間像を探る。音楽事業部の協力を得てピアノソナタや弦楽四重奏等、晩年作品の演奏会も開催。	50人	2024年1月 ～2月	ワークショップ ルーム他

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
ワークショップ・講座	アーカイブ配信	これまでに開催してきたセミナー・ワークショップの記録をYouTubeやPodcastで公開するラーニングプログラム。	ページ ビュー数 40,000回	通年	オンライン
	【穴アーカイブ2023】	世田谷区民から募った8ミリフィルムのアーカイブ事業。現在、これまでにデジタル化した映像をオンラインで公開している。上映会や常設展示でも紹介し、映像から想起した個々人の記憶を収集、公開していく。			
	世田谷クロニクル1936-83	8ミリフィルムを公開しているウェブサイト「世田谷クロニクル1936-84」。ウェブサイトの運営に加えて、福祉施設や美術館等への貸出を行う。	ページ ビュー数 15,000回	通年	オンライン
	せたがやアカカブの会	8ミリフィルムの定期上映会。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、手紙によるリモート開催を行ってきたが、対面での実施に戻して実施予定。(年4回)	60人	通年	ワークショップ ルーム他
	エトセトラの時間 見えるものと見えないものを語る会	視覚障害者と一緒に8ミリフィルムを鑑賞するワークショップ。劇映画やドラマとは異なり、視覚障害者にとって筋のないホームムービーを見る経験は乏しい。「みる」ことを考えるとともに、成果としてオリジナル「音声ガイド」も公開する。	オンライン 20人	通年	オンライン
	【共催事業】 財団内部、区内大学、市民活動団体等との共催	施設の利活用を促進するとともに、利用者の裾野を広げるため、地域の大学やNPO等と共催し、生活やデザイン、社会課題等と結びついた様々な催しを行う。	240人	通年	セミナールーム他
子どもワークショップ	【子どもワークショップ2023】	幼児から中高生、さらに若年層を対象に、デザインやコミュニケーションの体験などを通して、創造性を育む機会を創出する。			
	映像のフィールドワーク展 20世紀の映像百科事典をひらく vol.2 夏休みワークショップ(仮)	映像のフィールドワーク展の関連イベントとして、夏休みの小中学生・親子を対象とした造形ワークショップを開催する。映像を手本にして、身近に生えている草や廃材などを材料に、仮面や舟などを創造する。	60人	7月～8月	ワークショップ ルーム他
	おはなしいっぱい<オンライン開催>	幼児から大人まで楽しめる朗読、素話、パネルシアターなど、区内30団体をネットワークする「世田谷おはなしネットワーク」によるお話し会。活動団体のネットワーク構築と活性化を支援する。	オンライン 1,000人	7月～8月	オンライン
	若年層向けセミナー どう？就活 自分と仕事の出会い方 vol.3	若年層を対象に、働くとはどういうことか、何のために働くのか？新時代の多様な「働き方や生き方」について、働き方研究家やゲストとともに学ぶセミナーの第3弾。	70人	11月	ワークショップ ルーム他

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
人材育成 プログラム	インターン生の受け入れ	近隣大学からインターン生を受け入れ、コミュニティや交流について事業の現場を体験する場を提供する。(2回)	2人	8月	—
生活工房 広報	生活工房ウェブサイトの運営 SNS配信	生活工房の施設案内、事業予定、募集情報、関連ブログなどを掲載し、情報を発信する。SNS (Twitter、Facebook Page、Instagram)と併せ、効果的に広報を展開する。	—	通年	—
	情報紙の編集・発行	生活工房の事業を紹介する情報紙を定期発行する。区内施設や全国の文化施設等で配架して施設全体の周知を図るとともに、デジタル化された情報では受け取ることが難しい層にも情報提供する。	—	通年	—
	生活工房「アニュアルレポート2023」の編集・発行	年間のプログラムを記録した報告書。生活工房の活動を視覚的にわかりやすく紹介する冊子を発行する。施設の総合的な情報を開示することで事業への関心を高め、既存利用者の満足度向上や新規利用者の獲得を図る。(1回)	1,500部	2024年4月	—
国際交流・異文化理解の推進	映像のフィールドワーク展 20世紀の映像百科事典をひらく vol.2 (仮)[再掲]	ドイツで生まれた映像の百科事典「エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ」が記録した生命の営みを、未来に向けてひも解く展覧会の第二弾。映像を通して、夏休み子どもたちの世界への好奇心や探求心を引き出す。	15,000人	7月25日～10月15日	生活工房ギャラリー他
市民活動支援	世田谷アートフリマ 夏休みワークショップ	世田谷区内を中心に制作活動をしているアーティストを講師に招き、夏休み期間中、子どもたちに向けたものづくりワークショップを行う。	30人	7月～8月	ワークショップルーム他
	市民活動支援コーナーの運営	世田谷区内で活動する市民活動団体の支援を目的に、打合せスペース、プリントアウトスペースなどの場を提供。コーナーの運営は市民活動団体に委託。	7,000人	通年	市民活動支援コーナー
	ちかくのとーく	市民活動の活性化を図る目的で、世田谷区内のソーシャルグッドに貢献する活動に取り組む団体、個人を招いて開催するトークシリーズ。会場とオンラインで開催。(3回)	各回 会場10人 オンライン15人	通年	市民活動支援コーナー、セミナールーム他

(2)世田谷文化生活情報センター 世田谷パブリックシアター

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
国内演劇 創作事業	白井晃演出作品 『ある馬の物語』	【原作】レフ・トルストイ 【脚本・音楽】M・ロゾフスキー 【上演台本・演出】白井晃 2020年6月～7月にオリパラ関連事業として企画されていたが、新型コロナウイルスによる臨時休館時期に重なり中止、延期となった事業。ロシアの文豪トルストイによって19世紀後半に書かれた小説を戯曲化し、人間という愚かな生き物と聡明な馬とを対比させることで、「生きることとは何か？」という、普遍的なテーマを問いかける作品。国際的にも高く評価されてきたが、これを新たな視点で芸術監督・白井晃の演出により上演する。音楽劇としての色合いも濃い構成となっているが、既存のロシアの音楽に大胆なアレンジを加え、身体表現の要素もふんだんに取り入れながら、白井ならではの新たな視点で2023年度版を再構成する。(21回予定)	8,887人	6月～7月	パブリックシアター
	前川知大演出作品	【作・演出】前川知大 ホメロスの『オデュッセイア』を原典とする、運命と自由意志をテーマにした現代劇を創作する。2019年に上演した『終わりのない』の延長線上にある作品となる。 『終わりのない』では『オデュッセイア』にみられる神々と人間の別れ、人類が自らの意志で歩み出す様を、現代を生きる青年の成長物語として描き出し、高い評価をうけた。本作では、世界と対峙する存在としてAIが登場し、さらに人間という存在が曖昧になる中で、“人間に自由は可能なのか”というテーマで、今を生きる現代人に向けて強いメッセージを投げかける。(20回予定)	7,825人	11月7日～ 12月17日	パブリックシアター
	横山拓也作・瀬戸山美咲演出作品 『う蝕』(仮)	【作】横山拓也 【演出】瀬戸山美咲 日本劇作家協会新人戯曲賞や文化庁芸術祭賞新人賞等数々の受賞歴を持つ横山拓也が新作戯曲を書き下ろし、2020年の現代能楽集X『幸福論』で第28回読売演劇大賞選考委員特別賞・優秀演出家賞を受賞した瀬戸山美咲が演出する。演劇界を担う中堅劇作家・演出家の2人が初めてタッグを組み、シアタートラムならではの先鋭的な舞台芸術作品を発信する。(25回予定)	4,125人	2024年 2月10日～ 3月7日	シアタートラム
	森新太郎演出作品 『メディア/イアソン』	【脚本】フジノサツコ 【演出】森新太郎 さまざまな「メディア伝承」をベースに、異国の地で生まれたメディアとイアソンの二人が、ロミオとジュリエットのように十代でめぐり逢い、恋に落ち、そして互いに祖国を失い、逃れた地で起こる別れまでを描く。日本の演劇界をリードする森新太郎の演出により、2023年度版のあらたなギリシャ悲劇の世界を構築・上演する。(21回予定)	9,342人	2024年3月	パブリックシアター

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
国内演劇 創作事業	作品創造研究	次年度以降の上演演目としての可能性を探るため、調査研究の一環として、海外戯曲の翻訳(粗訳)、新企画の為の演目調査を先行して行い、世田谷パブリックシアター企画制作としての作品に適しているか否かを外部の有識者や実演家を交えて検討する。また、次世代を担うスタッフやキャスト達の出会いの場としても機能するワークショップを開催することにより、実演家の若手育成にも貢献する。事業の実施に着手する以前から作品検討を行うことにより、より完成度の高い舞台作品を創造する環境作りを行い、劇場のレパートリー作品を充実させていく。	—	通年	稽古場他
こどもプロ ジェクト	こどもプロジェクト2023 『せたがや夏いちらくご』	古典落語を扱いつつも現代の風刺を取り入れ大胆アレンジする作風と、とっつきやすい語り口で幅広い年齢層から多くの支持を集める春風亭一之輔がプロデュース。落語、お笑い、演芸などで活躍する芸人を招くことで、寄席芸能をより身近に感じることができ、テレビ等以外ではなかなか接する機会のない、伝統的・本格的な大衆演芸の面白さ、話芸のすばらしさを伝える内容とし、地域住民から幅広く来場者を得ることを目指す。また関連企画として子ども向けワークショップを実施するなど、鑑賞だけではなく、体験を通してプロの技や話芸の難しさ・楽しさを知ること、より多角的に寄席芸能に親しむ機会を創出する。(2回予定)	808人	7月17日	パブリックシアター
	こどもプロジェクト2023 『カラフル』	【原作】森絵都 【演出】小林香 せたがやこどもプロジェクトの一環として、青少年に向けた新作ミュージカルを上演。自社で多くの演出家・アーティストを抱え、数多くのオリジナルミュージカルの制作実績を誇る株式会社アミューズとの共同制作により、新たなジャンルでの舞台芸術作品の創造・発信を行う。作品は、直木賞作家・森絵都による100万部を超えるベストセラー小説「カラフル」(第46回産経児童出版文化賞受賞)を原作とし、多くのミュージカル作品を手がけてきた小林香を演出に迎える。(15回予定)	6,038人	7月22日～ 8月6日	パブリックシアター
	こどもプロジェクト2023 『メルセデス・アイス』	【作】フィリップ・リドリー 【演出】白井晃 「せたがやこどもプロジェクト」の一環として、イギリスの劇作家フィリップ・リドリーによる児童書『原題:Mercedes Ice』をもとにした青少年向けの演劇作品を『マーキュリー・ファー』『レディエント・バーミン』『ガラスの葉』等でリドリーの戯曲を数多く手掛けてきた白井晃芸術監督が演出し上演する。(10回予定)	4,000人	8月12日～ 20日	パブリックシアター

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
ダンス公演	ダンス提携公演／育成	気鋭の若手カンパニーからベテランまで、選りすぐりのダンスカンパニーと提携し、現代演劇と舞踊を専門として上演する劇場のレパートリーの多様性を創出する。創作活動を支援しながら、演劇的な要素や、音楽、美術など、異なるジャンルのアートとの出会いを提案し、世田谷でしか生まれ得ない新しい舞台芸術の創造を目的とする。 ・伊藤キム ・バオバブ ・山海塾 ・北村明子 ・Co.山田うん ・Co.RuriMito ・デラシネラ ・大駱駝艦	5,700人	通年	パブリックシアター/シアタートラム
提携公演	演劇提携公演	気鋭の若手から長年の実績を誇るカンパニーまで、優れた演劇作品の上演実績がある劇団・ユニット・制作会社・団体等と提携し制作的な補助、広報宣伝協力等を行う。 ・シス・カンパニー ・イキウメ ・劇団チョコレートケーキ ・国際演劇協会日本センター ・ロ字ック ・iaku	25,000人	通年	パブリックシアター/シアタートラム
コミュニティプログラム	劇場での演劇ワークショップ	1～2日単位で気軽に演劇や劇場を体験できるワークショップ「デイ・イン・ザ・シアター」を中心に、テーマを設定した上で複数日にわたって行う演劇ワークショップ「産み育て」「聞き書きワークショップ」「戯曲を読むワークショップ」を実施する。(36回予定)	540人	通年	稽古場他
	子どものためのワークショップ	子どもを対象に、演劇ワークショップを実施する。 (1)「夏休みワークショップ」 学校の長期休暇に合わせたワークショップ。 (2)「ごちゃまぜワークショップ」 学齢で区切らないワークショップとし、子どもたちが年齢の違うグループと作業する機会を提供する。	768人	通年	稽古場他
	地域の物語	区民を中心とした参加者たちが、現代社会が抱える社会的課題から考えられるテーマをもとに自分たちの住む社会・暮らし・地域について思考するワークショップを3ヵ月をかけて実施する。最後には、作品としてまとめあげ、シアタートラムにて広く地域の観客に向けて上演する。 また、2021年度に創作した『うけいれる身体、うけいれられない身体』の地方ツアーを2箇所予定している。(通年ワークショップ32日、発表会2回開催)	708人	通年	稽古場/シアタートラム他

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
学校とその他 区内施設との 連携プログラム	学校のためのワークショップ	世田谷区内の小中学校の児童・生徒・教員を対象に、以下の4つの事業を実施する。 (1)『ワークショップ巡回団』:進行役やアーティストが学校へ出向き、教科の学びに活かす演劇ワークショップを実践する。 (2)『ともにやの部屋』:障害当事者のライフストーリーからなる小作品を巡回する。 (3)「先生のためのワークショップ」:小中学校の先生が授業で活用するためのヒントとなるワークショップや事業報告会を年間を通じて劇場内外で実施する。 (4)「教員を対象としたフォーラムシアター」を上演する。	8,137人	通年	世田谷区内の各 小中学校/稽古場
	地域連携プログラム	非営利の区内施設／団体(児童館、障害者支援施設、病院、集合住宅等)に進行役を派遣して、演劇的手法を用いたワークショップや参加型作品を、当該施設／団体と協働して施設利用者及び近隣住民に向けて実施する。 本年度は、過年度に引き続き下馬地区に焦点をあて、地域の福祉法人他と連携してアートのお祭り「極楽フェス」を開催する他、世田谷区社会福祉協議会玉川地域社協事務所との企画等を予定している。	260人	通年	世田谷区内施設 他
	中学生演劇活動支援	中学生を対象に、年間を通じた演劇活動を提供する。 (1)「中学校支援」 世田谷区立中学校教育研究会演劇教育研究部と連携し、区立中学校演劇部を中心とした中学生への活動支援。支援内容は、演劇区大会支援を中心に、学校に訪問しワークショップを行う等、希望に応じたものとする。 (2)「世田谷パブリックシアター演劇部」 演劇部がない学校の子どもに向け、劇場で演劇ワークショップを実施する。2学期には、作品をつくり発表することを前提としたワークショップを実施。作品は世田谷区立中学校演劇発表会等で発表する。	560人	通年	世田谷区内各小 中学校/区民会館 他
	小学校古典芸能鑑賞教室 [区受託]	世田谷区立の小学校(全校)6年生を対象に、各学校体育館にて狂言ワークショップを実施。能狂言の発想や技能を体感し、日本固有の伝統芸能について関心を高める機会を提供する。(28回予定)	6,000人	5月～ 2024年2月	世田谷区内 小学 校体育館
	移動劇場「@ホーム公演」	劇場へなかなか足を運ぶことのできない、お年寄りや障害者が生活する場所へ、劇場から演劇を運んで上演する。観客は施設の利用者、職員ほか、家族、近所に住む方々。プロの演出家、俳優が、誰にでも楽しんでもらえ、かつ移動可能なオリジナル作品を創って、見ている人たちの前で演じる。また、劇には施設の職員さんが登場する場面や、見ている人たちが物語に参加できる仕掛けを用意して、その場にいる人たち全員が劇を介して一体感を持てるように工夫する。	1,000人	6月	区内特別養護老 人ホーム、デイ サービス施設、障 害者施設

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
研究育成プログラム	観客育成プログラム	地域市民及び観客を対象に、以下の2企画を実施する。 (1)『世田谷パブリックシアターダンス食堂』(劇場で上演するダンスプログラムと連携し、ダンサーの理念やメソッドに触れるワークショップ及びトーク) (2)「トーク企画」(舞台芸術に対する視野を広げ、批評的な視点を獲得するためのトーク企画を対談形式で実施)	170人	通年	セミナールーム他
	専門家育成プログラム	大学生や進行役、研究者を対象に、演劇ワークショップの社会における活用方法について調査研究する「SPTラボラトリー～演劇ワークショップラボ」を設定し、ラボメンバーを募集する。今年度は、「福祉」「教育」「まちづくり」を3本柱に、レクチャーやワークショップを組み合わせた実践形式のプログラムを行い、一部のレクチャーやワークショップは一般にも公開する。(21回予定)	430人	通年	パブリックシアター/シアタートラム/稽古場/セミナールーム他
舞台技術者人材育成プログラム	舞台技術講座	次世代を担う舞台技術者やプランナー、デザイナーを対象に、舞台・照明・音響各分野で未経験者及び経験者向けの安全講座、各分野別プログラムを実施する。基礎編、安全セミナー編など多様なプログラムを設ける。(4講座予定)	250人	8月 12月	パブリックシアター/シアタートラム
	舞台技術支援	劇場使用者等に対して、設備等の使用講習会を実施するとともに、プラン・オペレートや機材等の支援を行う。	—	通年	—
区民の表現の場の提供	フリーステージ	世田谷区民を中心とした、音楽やダンスなどの文化活動を行なっている団体から出演団体を公募。世田谷パブリックシアター(ダンス部門)とシアタートラム(音楽部門)にて、それぞれ日ごとの成果を発表する。各団体と劇場スタッフが協力し、事前の打ち合わせやリハーサルなどの作業を重ねて実施する。新型コロナウイルス感染症対策として、リハーサル・本番の開催日時を分散させ、1日あたりの参加者数や来場者数をおさえるなどの工夫を行う予定。(5日間5回)	3,000人	4月29日～ 5月7日	パブリックシアター/シアタートラム
	シアタートラム・ネクストジェネレーション room.Onaya Rion『Pupa』(仮)	2008年度より実施されてきた世田谷パブリックシアターによる、若い才能の発掘と育成を目的とした事業である「シアタートラム・ネクストジェネレーション」を、2023年度からは「ドラマ(演劇)」「フィジカル(ダンス、サーカス等身体表現)」とジャンルを分け、隔年で実施。今年度は「フィジカル」部門を実施する。シアタートラムが次代を担う若手実演家・実演団体にとっての創造・活動の“拠点”となることを目指し、世田谷区から全国へ発信する長期的なプログラムとする。(3回予定)	450人	12月5日～ 10日	シアタートラム

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
地域活性のための文化芸術事業	世田谷アートタウン2023『三茶de大道芸』	三軒茶屋の街を舞台に、商店街の各所で大道芸のパフォーマンスなどを行う。三軒茶屋の活性化と地域の文化向上を図るため、地元商店街や町会等との実行委員会方式により実施する。2日間開催。(文生センター全体事業)	200,000人	10月21日、22日	三軒茶屋駅周辺 商店街他
劇場広報	劇場営業広報宣伝	営業・広報宣伝活動を通じて世田谷パブリックシアターの事業を世田谷区内外に広く周知する。地域の劇場/創造発信型劇場としての当劇場の存在意義を高めるブランディング活動として各種メディアへの情報提供、ホームページや広報誌などによる情報発信を行い、主催事業への集客を図り財団の収益性の向上に資する営業活動を行う。	—	通年	—
	学芸共通広報宣伝	学芸部門で行われているワークショップ・レクチャー等の普及を進めるための広報物の作成や宣伝等の活動を、紙媒体ならびにホームページ(オンライン)を中心に展開する。	—	通年	—
	劇場雑誌の発行	各事業の成果を記載したアニュアルレポートを劇場雑誌として編集・発行する。2023年度は2022年度の事業を報告するための冊子を作成する。その他、必要に応じて事業ごとの活動を分析、記録、周知する劇場雑誌を編集・発行する。	1,000部	通年	—
海外招聘・国際共同制作	日・イスラエル外交関係樹立70周年 インバル・ピント『リビングルーム』	日本＝イスラエル外交関係樹立70周年を記念し、イスラエル出身のインバル・ピント振付の新作ダンス公演を招聘する。 世田谷パブリックシアターでも度々新作を上演し、また演出家として日本でも数々のミュージカルなどの演出を手がけるピントの作品は、子供から大人まで幅広い層の胸を打つ内容として人気が高い。 公演の他、ワークショップなどの関連事業を実施し、世界で活躍するアーティストの多彩な側面を紹介する。 (3回予定)	1,350人	5月19日～21日	パブリックシアター

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
海外招聘・国際共同制作	こどもプロジェクト 2023 ラルンベ・ダンス『エアー～不思議な空の旅～』	せたがやこどもプロジェクトのプログラムとして、マドリッド(スペイン)を拠点に活動が続け、50年の歴史を持つダンスカンパニー、ラルンベ・ダンスを招聘する。2014年に『クジラ～はるかな海の伝説～』で初来日を果たし、ダンスと3D映像を組み合わせた愉快的なステージで子どもたちを魅了した。今回予定している『エアー～不思議な空の旅～』は大気汚染をテーマとし、カンパニーの環境問題三部作の最終章として、ダンスを通じて社会へ自然の大切さをうったえる作品である。 また、子ども向けのダンスワークショップを開催し、身体を動かし表現することの面白さを体験してもらう。(3回予定)	540人	7月28日～30日	シアタートラム
	世田谷アートタウン2023 海外招聘公演 『フィアース5』	フランスの現代サーカス界を牽引する演出家・振付家のラファエル・ボワテルを演出に迎え、日本のサーカスアーティストとの国際共同制作により2021年に初演した『フィアース5』の改訂再演を行う。「七転び八起き」をテーマに、サーカスの世界に生きる若いアーティストの葛藤を通して、成長や仲間との共同作業の大切さなどを描いていく。 公演のほか、『三茶de大道芸』に合わせた劇場ツアーや、ラファエル・ボワテルによるレクチャー、ワークショップなども行う。(公演3回、ワークショップ2回予定)	540人	10月27日～29日	パブリックシアター
	海外招聘ダンス公演 Ate9『Exhibit B』『Calling Glenn』	アメリカ(ロサンゼルス)を拠点に活動するダンスカンパニーAte9の初来日公演。イスラエル出身の振付家ダニエル・アガミを中心に、躍動感あふれるダンス作品を展開する。生演奏による音楽とのコラボレーションは、ダンスに新たな表現力を付加し、日本の観客に、これまでにないパワフルなパフォーマンスに触れる機会を提供する。世田谷区は、2020東京オリンピック・パラリンピックでアメリカのホストタウンを務めたが、スポーツ競技とはまた異なる、人間の持てる身体の芸術的な側面をダンス公演を通じて紹介する。公演の他、ワークショップやレクチャートークなどの関連企画も併せて実施することで、世界で活躍するカンパニーを多角的に紹介する。(3回予定)	1,200人	2024年3月	パブリックシアター

(3)世田谷文化生活情報センター 音楽事業部(せたおん)

31

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
身近に親しむ 演奏会	せたがやジュニアオーケストラ オータムコンサート	親しみやすい曲目と趣向を用意して、せたがやジュニアオーケストラの練習の成果を披露する。全体合奏を発表できる会場がないため、アンサンブル中心の公演を行う。	300人	11月5日	烏山区民会館
	室内楽シリーズ	内外で活躍する演奏家による室内楽の演奏会シリーズ。多彩で質の良い音楽を提供する。ピアノを中心としたものを2公演、ヴァイオリン・リサイタルを1公演実施の予定。	930人	6月3日 7月1日 11月18日	玉川せせらぎホール(6月)/ 成城ホール
	シリーズ和・華・調 〈新区民会館オープニングイベント〉 [区受託]	日本の伝統音楽を、第一級の音楽家による演奏に、親しみやすい演出を加えて、堪能していただく公演シリーズ。新区民会館の開館を記念して、今藤政太郎の代表作、及び歌舞伎舞踊による特別公演を行う。	800人	2024年 1月13日	世田谷区民会館
	区民コンサート 〈新区民会館オープニングイベント〉 [区受託]	2つのアマチュア団体、世田谷フィルハーモニー管弦楽団と世田谷区民合唱団によるベートーヴェンの「第九」の演奏で、聴衆の区民と共に、新区民会館の誕生を祝う。	800人	2024年 1月28日	世田谷区民会館
	特別コンサート 〈新民会館オープニングイベント〉 [区受託]	せたがやジュニアオーケストラと連携している東京フィルハーモニー交響楽団による公演。新区民会館で、本格的なオーケストラの演奏を区民に親しんでもらう。	800人	2024年 3月16日	世田谷区民会館
	ミュージック・ラウンジ	大人がリラックスして楽しめるコンサートのシリーズ。会社勤めなどで忙しく、生の音楽に触れる機会の少ない人たちに向けて、肩の凝らない内容の演奏会を開催していく。2回実施の予定。	320人	5月19日他	北沢タウンホール
活動をつなぐ 演奏会	異分野とのコラボレーション	池辺晋一郎音楽監督が、様々な分野で活躍しているゲストを迎え、音楽にまつわるトークと演奏を展開する、世田谷オリジナル企画。今年度は、動物と音楽をテーマにする予定。	270人	12月9日	烏山区民会館
	せたがや名曲コンサート	世田谷フィルハーモニー管弦楽団と世田谷区民合唱団が共演する恒例のコンサート。実施にあたっては、両団と実行委員会を形成して、運営にあたる。ベートーヴェンの「第九」を演奏の予定。	1,320人	2024年 2月12日	昭和女子大学 人見記念講堂
	連携コンサート	意義のある企画を選んで、他の団体と共同で開催するコンサート。多様な事業を展開し、演奏・鑑賞、双方の面から活動を活発化する。	未定	未定	未定
ワークショップ・講座	せたがや音楽研究所	宮川彬良スペシャル・プロデューサーが、奇想天外かつ独自の解釈で、音楽を紐解いていく、楽しみながら学べる、バラエティ形式のコンサート。	300人	10月14日	玉川せせらぎホール
	音楽講座	公演に因んだもの、また音楽にいろいろな角度から焦点をあてたものなど、区民がいろいろな形で音楽の楽しさ、おもしろさ、奥深さに触れられるような講座を開催していく。	90人	未定	未定

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
次の時代の ためのプログ ラム	せたがやジュニアオーケストラ運営	子どもたちが、オーケストラ活動を通じ、情操や協調の精神を学び、豊かな人間性、社会性を身に付けることを目指す。楽器ごとのパート練習、全パートでの合奏練習などを年間通じて行う。	85人	通年	区内各所
	せたがやジュニアオーケストラ演奏旅行	せたがやジュニアオーケストラ一同で、夏休み期間に、兵庫県姫路市に演奏旅行を行い、同じく池辺晋一郎音楽監督を擁している姫路市ジュニアオーケストラとの合同演奏会を開く。	70人	8月19日～ 21日	アクリエ姫路他
	せたがやジュニアオーケストラ定期演奏会 〈新区民会館オープニングイベント〉 〔区受託〕	年度末に、メンバー全員が揃って、一年間取り組んだ活動の成果を問う演奏会を開催する。同時に、広く区民にジュニアオーケストラへの関心を広げていくことを目指す。5年ぶりに世田谷区内で開催する。	800人	2024年 3月17日	世田谷区民会館
	学校への訪問企画	多くの子どもたちに身近に音楽を感じてもらうために、体育館などで開くコンサートやワークショップなどを通じて、学校に生の音楽を届ける。	1,000人	未定	未定
区民の表現 の場の提供	世田谷アーティスト支援企画 Discovery Setagaya Sounds	世田谷区民の一流アーティストによる、世田谷区民に向けた、世田谷ならではの公演を実施して、今後の表現活動のきっかけをつくる。今年度は、東儀秀樹と共に、「せたがやこどもプロジェクト」の一環として、実施の予定。	200人	8月11日	シアタートラム
	区民チャレンジ・ライブ ミュージック・バトル〈新区民会館オープニングイベント〉〔区受託〕	区民から参加者を募り、予備審査を経た出演者と共につくるコンサート。区民の愛好家に発表の場を提供すると共に、出演者間の交流を図り、音楽を親しむ人たちの拡大につなげる。新区民会館の開館を祝した開催とする。	800人	2024年 2月18日	世田谷区民会館
	世田谷区民音楽団体の支援 〔区受託〕	世田谷フィルハーモニー管弦楽団、世田谷区民合唱団、世田谷区民吹奏楽団、アマチュア3団体の活性化、発展を側面から支援する。	3団体	通年	—
地域活性の ための文化プ ロジェクト	せたがやまちかど・まちなかコンサート	区民が身近な地域で音楽を楽しめるよう、区内各所の比較的小規模の公共施設や街角などで、小編成のバンドなどによるコンサートを実施する。	2,000人	未定	未定
	Setagaya Arts Place 〔区受託〕	世田谷区の主催するイベントや地域のにぎわいの核となっている商店街のイベントに、芸人やアーティストを派遣し、イベントをさらに盛り上げるとともに、区民に身近な場所で気軽に文化・芸術にふれる機会を提供する。	未定	未定	未定
音楽事業部 広報	「情報ガイド」をはじめとする各種広報活動	ホームページ、「せたおんイベント」や「情報ガイド」、さらにはマスコミ等への情報提供を通じ、事業予定・内容等を広く区民へ発信するほか、戦略広報としての展開を推進する。	—	通年	—
国際交流・異 文化理解の 推進	ホストタウン・コンサート 〔区受託〕	アメリカ合衆国のホストタウン世田谷区が、区民の馴染みの施設にて、アメリカ発祥の音楽や芸術に親しむコンサートを実施する。	未定	8月19日	成城ホール

(4)世田谷文化生活情報センター 国際事業部

33

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
市民活動支援	せたがや国際交流センターの運営	主に、区内在住外国人の生活相談等の問い合わせに対する窓口案内などを行う。また、行政情報、生活・文化情報の他、国際交流などの地域活動団体の紹介を行う。	4,000人	通年	せたがや国際交流センター
	区内活動団体の支援事業	区内で多文化共生、国際交流、国際貢献活動をしている団体に対して、事業のPRや事業連携を行う。	10団体	通年	せたがや国際交流センター
国際交流・異文化理解の推進	区民国際交流事業	【せたがや国際メッセ】 区民が多様な文化を知り・触れることができ、参加・出展する区民団体等の活動をPRする場を提供する「せたがや国際メッセ」を区と共催で実施する。	未定	未定	未定
		【国際交流inせたがや】 区民と海外の人々の交流を目的とする事業「国際交流inせたがや」を、海外・国際研修旅行の参加者で結成された世田谷海外研修者の会と共催で実施する。	未定	2024年 2月10日	セミナールーム
	やさしい日本語でまち歩き	文化施設や商店街、様々な地域イベントをめぐるツアーなどを企画し、世田谷区在住の区民や外国人が地域の魅力を発見しながら交流することで、地域で活動するきっかけをつくる。	40人	10月14日	九品仏他
	子ども企画	夏休み中の子ども企画として、小学生5・6年生から参加者を募り、区内にある大使館を訪問する。	10人	8月14日	区内の大使館
ワークショップ・講座	【多文化理解講座】	主に区民を対象として、文化の違いなどを学ぶことができる講座を開催し、共生社会実現に向けての一助とする。			
	①ジェンダー平等を学ぶワークショップ	国際NGO プラン・インターナショナルの職員から、ジェンダー平等について学ぶワークショップを実施する。	50人	4月8日	セミナールーム

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
ワークショップ・講座	②東京ジャーミイ見学会(仮)	渋谷区大山町にある日本最大のモスク「東京ジャーミイ」の見学会とトルコの文化を学ぶ講座を実施する。	50人	未定	渋谷区大山町
	③生物多様性、その重要性和保全について(仮)	世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)の職員から、生物多様性の重要性について学ぶ講座を実施する。	50人	7月15日	セミナールーム
	④やさしい日本語によるコミュニケーションを学ぶ(仮)	日本語が少しだけ分かる外国人に伝わりやすい「やさしい日本語」を学ぶ講座、やさしい日本語で話すコツを楽しく学ぶ講座を、財団職員の研修と兼ねて実施する。	60人	9月9日	セミナールーム
	⑤区内大学の教員が語る外国文化の話(仮)	区内大学の外国語学科の教員が、培ってきた知識や体験を語ることで、日本とは異なる国や地域の文化を知る講座を開設する。	50人	10月7日	セミナールーム
	⑥区内大学の教員が語る外国文化の話(仮)	留学経験のある区内大学の教員が、留学体験や培ってきた知識を語ることで、日本とは異なる国や地域の文化を知る講座を開設する。	50人	11月11日	セミナールーム
	⑦区内大学の教員が語る特定地域における食文化の話(仮)	区内大学の教員が、特定の地域における食の歴史と文化を振り返りながら、その魅力に迫る講座を開設する。	50人	2024年1月13日	セミナールーム
	⑧在住外国人が語る祖国と日本の違い(仮)	在住外国人が、祖国の文化を紹介しつつ、日本で暮らしてきて体験したこと、感じたことなどを聞くことができる講座を実施する。	50人	未定	未定
	にほんご交流会	外国人と日本人がグループに分かれ、やさしい日本語を使った交流を行う。	未定	未定	テンプル大学他
国際事業部 広報	国際事業部広報	せたがや国際交流センターの施設案内、国際事業部の事業などを情報発信する。また国際交流活動や地域活動などを実施する団体情報、外国人への生活に役立つ情報なども併せて発信する。 (ウェブサイト、Facebook、Twitter、Instagram、情報ガイド、メールマガジン、ニュースレター)	—	通年	—

(5)世田谷美術館

35

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
企画展事業	世田谷美術館コレクション選 わたしたちは生きている！ セタビの森の動物たち	当館のコレクションから、古今東西、様々な手法で表現されたいろいろな動物の作品を一堂に展示する内容。作品に描かれた生命に触れながら、この時代にたくましく、のびのびと想像力豊かに生きることを考えるわたしたちのための展覧会。Ⅰ《とりたちのうた》、Ⅱ《人とともに》、Ⅲ《思いをのせて》、Ⅳ《いのちの森》、Ⅴ《ねこの園》、の5つの構成で作品を展示し、併せて展覧会会場に来場者が参加できるコーナーを設ける他、各種イベントを開催する。	700人(総計:9,000人)	(2月18日)～4月9日	世田谷美術館
	麻生三郎展 三軒茶屋の頃、そしてベン・シャーン	戦後美術を語る上で欠くことのできない重要作家・麻生三郎(1913-2000)の回顧展。麻生は1945年の東京大空襲で池袋長崎町にあったアトリエを焼失した後、戦後、1948年に世田谷区三軒茶屋にアトリエを構えた。その後、新玉川線(現・田園都市線)建設工事のために制作環境が悪化し、1972年に川崎市に転居するまでの約25年間、麻生は《赤い空》のシリーズなど代表作を生み出していった。 本展では、麻生の最も充実した制作時期にあたる三軒茶屋時代にスポットを当てて紹介する。また、同時代の世田谷ゆかり作家、文学者達との交流や、麻生三郎がコレクションしていた作品も紹介する。	16,000人	4月22日～6月18日	世田谷美術館
	シャガール 版にしるした光の詩 ^{うた} 神奈川県立近代美術館コレクションから	20世紀絵画を代表する巨匠のひとりであるマルク・シャガール(1887-1985)。宙を舞う恋人たちや動物をモチーフとした色彩豊かで幻想的な画風で知られ、日本でも人気の高い画家であるが、版画の分野でも大きな足跡を残している。 本展では神奈川県立近代美術館が所蔵する260点あまりのシャガール版画のなかから、『ダフニスとクロエ』や『サーカス』など各年代の代表作を含め約150点を紹介し、そこに込められた物語や制作の背景、技法による表現の違いなどを丁寧に読み解くことで、その魅力を伝える。	16,000人	7月1日～8月27日	世田谷美術館
	土方久功と柚木沙弥郎 ——熱き体験と創作の愉しみ	当館の収蔵品から、土方久功と柚木沙弥郎の作品を紹介する。土方久功については、1929年から約13年におよんだ南洋滞在を中心に紹介し、木彫やブロンズ彫刻、水彩画などを展示。また、民藝の影響を受け、芹沢銈介に弟子入りして染色家としての活動をはじめ、100歳を迎えてなお精力的に制作を続ける柚木の作品は、テキスタイルおよび立体作品などを展示する。その他、両者が手掛けた絵本の仕事も紹介する。	10,000人	9月9日～11月5日	世田谷美術館
	倉俣史朗のデザイン ——記憶のなかの小宇宙	倉俣史朗(1934-1991、1978年以降世田谷区在住)は、1960年代以降のデザイン界において、世界的に高い評価を受けたデザイナーである。富山県美術館所蔵の椅子《ミス・ブランチ》(1988年)や、京都国立近代美術館所蔵の《光のテーブル》(1969年)に代表されるように、アクリル、ガラス、建材用のアルミなど、従来の家具やインテリアの世界では用いられなかった工業素材に独自の詩情を乗せた仕事は、特に1970年代以降、世界的な注目を集めた。今回の展覧会では、内面やその思考の背景による「倉俣史朗自身」を一つの軸としつつ、その「倉俣史朗自身」と紐づけながら初期から晩年までの作品を紹介することを試みる。	25,000人	11月18日～2024年1月28日	世田谷美術館

事業名	個別事業名			実施日等	実施場所
企画展事業	美術家たちの沿線物語 小田急線篇	世田谷区内を走る鉄道と、その沿線で活動した美術家たちの創作と交流の足跡を辿る、美術家たちの沿線物語シリーズ第4弾。 1927年に新宿-小田原間で開通した小田原急行鉄道(現・小田急電鉄)の沿線に焦点をあて、白と黒の会(経堂界限)、砦人会(成城界限)などのグループをはじめ、高山辰雄(成城)と稗田一穂(祖師谷)、横尾忠則(成城)など、当館所蔵品の中から沿線ゆかり作家の作品を集めて展示する。 また、世田谷文学館や世田谷区立郷土資料館の協力のもと、沿線の文学者や東宝スタジオの映画人の関連資料、ならびに郷土史資料も加え、世田谷ならではの独特な文化的土壌について考察しつつ作品を紹介する。	9,000人	2024年 2月17日～ (4月7日)	世田谷美術館
調査・研究	【調査・研究】				
	企画展	次年度以降の企画展の立案・具体化のため、国内外各所との交渉や基礎的な調査研究を行う。	—	通年	世田谷美術館
	収蔵品等 [指定管理]	収蔵品及び美術館活動に係る調査・研究を行う。学芸員による調査研究成果を『紀要』として編集発行し、美術研究に資する。	350冊	通年	世田谷美術館及び分館
	アーカイブ [指定管理]	本年度の事業のまとめとして『年報』を編集発行し、美術館活動を総括し、記録する。	300冊	通年	世田谷美術館
収蔵品展	美術館 ミュージアム コレクション [指定管理]	世田谷美術館の収蔵作品を、テーマを設定して公開する。 第Ⅲ期 〈それぞれのふたり〉 萩原朔美と榎本了彦	30,000人	(2022年 12月3日)～ 4月9日	世田谷美術館
		第Ⅰ期 山口勝弘と北代省三展 —— イカロスの夢		4月22日～ 7月23日	世田谷美術館
		第Ⅱ期 雑誌にみるカットの世界 —— 『世界』(岩波書店)と『暮らしの手帖』(暮らしの手帖社)		8月5日～ 11月19日	世田谷美術館
		第Ⅲ期 美術家たちの沿線物語 京王線・井の頭線篇		12月2日～ (2024年 4月7日)	世田谷美術館
	向井潤吉アトリエ館収蔵品展 [指定管理]	向井潤吉作品にかかわる作品展を年2回実施する。 第Ⅰ期 開館30周年記念 向井潤吉からの贈りもの 自選寄贈作品一挙公開！	8,100人	4月1日～ 9月10日	向井潤吉アトリエ館
		第Ⅱ期 向井潤吉の描く民家と自然美 津々浦々のきらめき		10月7日～ 2024年 3月10日	

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
収蔵品展	清川泰次記念ギャラリー収蔵品展 [指定管理]	清川泰次作品にかかわる作品展を年2回実施する。 第Ⅰ期 清川泰次 絵画とデザイン	2,420人	4月1日～ 9月10日	清川泰次記念ギャラリー
		第Ⅱ期 清川泰次記念ギャラリー開館20周年 清川泰次のすべて		10月7日～ 2024年 3月10日	
	宮本三郎記念美術館収蔵品展 [指定管理]	宮本三郎作品にかかわる作品展を年2回実施する。 第Ⅰ期 FLOWERS and FLOWERS 宮本三郎の描く花・華	3,600人	4月1日～ 9月10日	宮本三郎記念美術館
		第Ⅱ期 PATTERNS and VARIATIONS 宮本三郎 絵画の変奏曲		10月7日～ 2024年 3月10日	
資料収集・管理	資料収集 [指定管理]	貴重な美術作品及び美術に関する資料を、世田谷区民の文化的財産として蓄積していくため、区と共に収集委員会条例に基づき、美術品等を収集する。現在、作品の購入はないが、作家本人や区民から寄贈の申し出があり、収集する機会が生ずる。これらの機会を的確にとらえ調査を行い、収集委員会への提案に結び付けていく。	—	通年	世田谷美術館及び分館
	作品保管整理 [指定管理]	収蔵品を保管・整理し、いつでも展示・公開できるように作品のコンディションを良い状態に保つ。問題が生じた作品は修復や額装改善などの処置を施す。作品のデータについては収蔵品管理システムを活用し、一括管理する。また、収蔵品の公開の機会を増やすため、貸付要領に基づき作品の貸出を行う。	—	通年	世田谷美術館及び分館
アートライブラリーの運営	アートライブラリーの運営 [指定管理]	世田谷美術館が所蔵している美術専門書の閲覧やビデオの視聴、またレファレンスサービス等による情報提供を行う。	12,000人	通年	世田谷美術館
ワークショップ・講座	講座・ワークショップ	新型コロナウイルスが収束していない可能性を考慮しながら、美術と創造の普及を目的とした各種講座、企画展に関連した講座、子どもから大人まで幅広い年齢層を対象とした単独開催形式の講座を開催する。どなたでも気軽に参加できる100円ワークショップ、実技の体験を目的とした講座や小中学生を対象に連続した実技と講義で美術を学ぶ講座を開催する。また、ギャラリートーク・講演会・ワークショップ・コンサート、ホームページからの動画配信など様々な普及活動を行う。	1,545人	通年	世田谷美術館及び分館 創作室 オンライン

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
ワークショップ・講座	美術大学	講義・実技を組み合わせた半年間の本科を、人数を制限した40名(通常は定員60名)で開催。その他、ホームページからの動画配信などを通じての通信講座を引き続き開催する。また修了者を対象としたステップアップ講座も規模を縮小して開催する。	460人	通年	世田谷美術館 オンライン
	【パフォーマンス】 プロムナード・コンサート	美術館を音楽による交流の場とするとともに、若手音楽家の育成を図ることを目的に、実力ある若手を中心とする音楽家によるリサイタル形式のコンサートを行う。	140人	年2回	世田谷美術館
	パフォーマンス等イベント	当館の建築空間や教育普及の取り組みを活かした、アーティストの創造支援等を実施する。新型コロナウイルスが収束していない可能性を考慮し、単発のイベントや、オンライン配信も併用した企画を行う。	200人	通年	世田谷美術館 オンライン
子どもと学校プログラム	美術鑑賞教室	世田谷区教育委員会との連携により、世田谷区立の小学校4年生の児童、中学校の生徒を対象に、展覧会及び美術館内の施設見学を実施する。またそのための区立小学校への出張授業の実施や動画、ガイドブックの作成を行う。	17,300人 (全90校)	通年	世田谷美術館 区内小中学校
人材育成プログラム	学校との連携	学芸員後継者育成と美術館諸活動の普及のために、博物館学実習の講義、実習を行う。(8日間) 長年の実績がある学芸大学インターン生を育成し、美術鑑賞教室で来館する区内小学校4年生への事前(事後)出張授業を行う特別プログラムを実施(小学校希望校約30校を予定)。 区内の各地域や学校と連携、コラボレーションし、世田谷美術館のコレクションを活用したワークショップや創作活動を実施する。 今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため従来の活動を大幅に改定する必要があり、リモートで実施可能な普及活動の展開も行っていく。	40人	通年	世田谷美術館、区内小中学校、大学他
アクセシビリティ向上事業	アクセシビリティ向上事業	展覧会に関連した講演会において、より良い理解を目的として、手話通訳を手配し、配置する。	10人	通年	世田谷美術館
	ミュージアム・セッション	視覚障害者と晴眼者がともに美術を鑑賞し、豊かなコミュニケーションを育むという新しい実践及び研究に関する講演会等をオンラインで配信する。海外の事例のみならず国内の事例の紹介も行っていく。	100人	年1回	世田谷美術館 オンライン

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
区民の表現の場の提供	区民展	世田谷区もしくは川場村在住・在勤・在学者を対象に、作品の募集を行い、区民ギャラリーにて展示する。	250人	10月～ 2024年3月	世田谷美術館
	【区民ギャラリー等の貸出】 [指定管理]	世田谷美術館及び清川泰次記念ギャラリーにおいて、創作活動発表の場として区民ギャラリー及び講堂の貸出を行う。			
	美術館(本館)区民ギャラリー	創作活動発表の場として、世田谷美術館の区民ギャラリーA・B貸出を行う。	75,000人	通年	世田谷美術館
	清川泰次記念ギャラリー区民ギャラリー	創作活動発表の場として、清川泰次記念ギャラリーの区民ギャラリー貸出を行う。	4,000人	通年	清川泰次記念ギャラリー
	美術館(本館)講堂	文化・芸術に関する活動・発表の場として、美術館活動に支障のない範囲で世田谷美術館の講堂貸出を行う。	1,300人	通年	世田谷美術館
地域活性のための文化芸術事業	ボランティア活動	世田谷区立小学校鑑賞教室及び出張授業、中学校鑑賞教室、川場村小学校出張授業、ミュージアム・ツアー、ワークショップ、イベント等の支援を行う。	250人	通年	世田谷美術館他
	さくら祭	砧公園のお花見客への当館のPRを目的とする。エントランス広場でのミニワークショップ、パフォーマンス、フリーマーケットなど	3,000人	4月1日、2日	世田谷美術館
美術館広報	美術館広報	当館ウェブサイトや各種公式SNS、印刷物のほか、マスコミ等の媒体への情報提供を通じて、館の活動や事業予定・内容等について広く区民等へ発信する。	—	通年	—
	ニュースレター(美術館だより、友の会だより)等の発行	ニュースレター(美術館だより、友の会だより。年3回、6月・10月・2024年2月発行、各1,500部)、年間予定表(2024年3月発行、50,000部)の発行を行う。	54,500部	6月、10月 2024年 2月、3月	—

(6)世田谷文学館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
企画展事業	石黒亜矢子展 ばけものぞろぞろ ばけねこぞろぞろ	妖怪絵や化け猫図などの主題で知られる画家・石黒亜矢子(1973～)。画家としての仕事のほか、イラスト・装画・文学作品や教科書の挿絵を手掛けるなど、その活動は多岐に渡る。なかでも『ばけねこぞろぞろ』『いもうとかいぎ』『えとえとがっせん』『どっせい！ねこまたずもう』『ねこまたごよみ』『つちんこつちゃん』などの絵本作品は多くの読者に愛されている。 本展では最初期の絵画作品をはじめ、挿画・イラスト・絵本原画・最新作まで、これまで一体的に紹介されることの少なかった石黒亜矢子のクリエイティビティの全貌に迫る。	19,000人	4月29日～ 9月3日	世田谷文学館
	シーズン展示 「どっせい！ねこまたずもう ～夏場所～」	石黒亜矢子展に関連した、夏休み期間中の子ども向けのお楽しみ企画として実施。 石黒作品の中でも人気の高い絵本『どっせい！ねこまたずもう』を題材に、インタラクティブ・メディアアートとして展開する。参加者の動きと連動しながら、絵本の登場人物と相撲をとることが出来る仕組みを検討している。 無料で実施することで、石黒作品に触れたことがない来場者にも気軽に参加してもらって興味を喚起する。夏限定で、館全体を子どもが楽しめる雰囲気につくりあげる。	5,000人	7月22日～ 8月31日	世田谷文学館 1階文学サロン
	江口寿史展(仮称)	『すすめ!!パイレーツ』『ストップ!!ひばりくん!』ほか強烈なギャグマンガで人気を博し、現在ではイラストレーターとしても活躍中の江口寿史氏(1956～)。イラストレーションの数々は、幅広い世代に浸透し、後進の作家たちに影響を与え続け、80年代から現代にかけてのポップカルチャーの象徴ともいえる存在となっている。 本展では江口寿史氏の原点である漫画に焦点をしぼり、その創意工夫を作者とともに読み解くことによって、イラストレーションが出来上がるまでの軌跡をあきらかにする。	18,000人	9月30日～ 2024年 2月4日	世田谷文学館
調査・研究	調査・研究 [指定管理]	文学館活動の基盤となる収蔵コレクション及び世田谷ゆかりの作家・ゆかりの作品の調査・研究を行い、コレクション展や紀要としてその成果を公表する。本年度は「石川淳・椎名麟三・梅崎春生」関連資料をまとめた資料集を刊行する。	—	通年	世田谷文学館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
収蔵品展	コレクション展 [指定管理]	文学館が収蔵する貴重な文学資料を核に、世田谷を舞台にした文学作品の関連資料とゆかりの文学者の資料を展示し、区民に広く親しむ機会を提供する。2023年度は、世田谷ゆかりの二人の作家にスポットをあてる。 前期は、没後50年にあたる小説家・椎名麟三(1911－1973)の生涯と作品を特集し、椎名の模索し続けた「ほんとうの自由」とは何かに迫る。同じく松原に住み親しく往来した梅崎春生をはじめとする戦後派作家たちの様相を当館収蔵品とともに展示する。 後期は、日本映画黄金期に衣裳デザインのパイオニアとして現代劇から時代劇まであらゆるジャンルで活躍した柳生悦子(1929－2020)の仕事を、生前本人から寄贈された多くのデザイン画とともに紹介する。	15,000人	前期 4月22日～ 9月3日 後期 10月7日～ 2024年 3月31日	世田谷文学館
資料収集・管理	資料収集・管理 [指定管理]	世田谷ゆかりの作家や区民等からの寄贈・寄託により、文学資料等の収集を行う。世田谷区が所有している作品を系統的に整理するとともに、良好な状態で保存・展示するため保管管理し、計画的に調査を進める。保管環境の維持・向上のため、展示室・収蔵庫および周辺部の環境確認のための環境調査のモニタリングを年間を通じて実施する。災害等緊急時のコレクション保護のための環境整備を行う。また、貸付要領に基づき、コレクションの貸付を行う。逼迫した課題である収蔵庫 狭小化対応のため、引き続き収蔵資料の保管場所の見直しと保管場所確保のための2階3階両収蔵庫の整理作業を行う。	—	通年	世田谷文学館
OAシステム	OAシステムの運用 [指定管理]	世田谷文学館の収蔵資料を適切に管理し、活用・公開を促進するために収蔵品管理システムの管理運営を行う。またホームページ上での主要収蔵資料の検索サービスに関しても、その内容を段階的に拡充する。	—	通年	世田谷文学館
地域連携事業	どこでも文学館	「いつでも、どこでも、だれでも参加できる博物館」というコンセプトのもと、館内でのリアルイベントとともに、オンライン活用による配信イベント、ワークショップのプログラムの開発を進め、子ども対象だけではなく世代間交流イベントなどより広い層の利用者獲得を目指す。学校や地域と連携しての写真展や文学作品のパネルなどの出張展示・出張ワークショップも引き続き実施し、出張展示キットの全国への貸し出しも行う。(出張展示30回、ワークショップ延べ6回を実施予定)	60,000人	通年	世田谷文学館、区内小中学校、区民センター、図書館、川場村など
	幼保連携事業 [区受託]	世田谷区教育委員会の「世田谷区幼児教育・保育推進ビジョン」の基本方針の一つである「文化・芸術とふれあうための各園等における環境づくり支援」の一環として、乳幼児を対象とした文化・芸術体験のアウトリーチ事業と連携するため、世田谷文学館が制作した出張展示用バナーセットの展示を、当委員会から委託を受け実施する。	200人	通年	区内幼稚園・保育園など

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
講演会等 事業	企画展・コレクション展、ライブラリー関連講演会、上映会、コンサート等事業	企画展・コレクション展やライブラリー事業と連動したトークイベント、講座、コンサート、上映会、ワークショップなどを実施し、乳幼児も含めた幅広い層の来場者に、文学館のさまざまな楽しみ方を提案するオンラインイベントも継続で実施し、新規の利用者の参加にもつなげる。	2,000人	通年	世田谷文学館 オンライン
	オンライン講演会・講座	館長プロデュースの文学・文化講座や多彩なワークショップをオンラインで配信し、より多くの参加者のニーズに応える。	2,000人	通年	世田谷文学館 オンライン
	地域のまつり等との連携	地域催事(下町まつり、蘆花まつり等)と連携した館内催事を行う。	1,000人	6月・10月	世田谷文学館
活動支援・共 催事業	市民活動・友の会の支援など	世田谷文学館友の会をはじめ、文学活動を中心とする区内外の団体の講座や活動を支援し、市民の生涯学習の要望に応える。	500人	通年	世田谷文学館他
人材育成 プログラム	学芸員実習	学芸員後継者育成のために、博物館学実習の講義・実習を行う。(6日間)	5人以内	7月～9月	世田谷文学館
	職場体験などの受入	参加者は博物館の仕事全般を学び、事業の企画や実施にも直接携わることができるプログラムで、近隣の中学校などから希望があれば職場体験を受け入れる。(コロナ禍での職場体験の代替処置として、施設見学またはオンライン見学・インタビュー等でも受け入れる)	30人	通年	世田谷文学館 オンライン
ライブラリー の運営	ライブラリー「ほんとわ」の運営 [指定管理]	ライブラリー<ほんとわ>では、授乳室などのベビーケア設備を備えた子どものための本のエリアや、各分野で活躍するプロフェッショナル、作家が薦める本のコーナーなど、書物との新たな出会いと多様な楽しみ方を提案し、地域のための図書空間を企画・運営する。3階閲覧室においては、収蔵している閉架資料の閲覧サービスを行う。	15,000人	通年	世田谷文学館
文学館広報	文学館広報	新聞広告や印刷物のほか、ホームページやSNSなどのソーシャルメディアを駆使した広報活動を継続するとともに、マスコミ等の媒体への情報提供を通じて、館の活動内容について広く区民等へ発信する。2023年度からは、館内アンケート・企画展開催情報の多言語配信に加え、千歳烏山駅からのアクセス方法周知を開始し、利用者の利便性向上に繋げる。	—	通年	—
	ホームページコンテンツ制作 「ほんとわラジオ」放送 文学館ニュースの発行 セタブン特別パスポート事業(仮称)	文学館の事業活動を広く周知するため、ホームページコンテンツの制作、文学館ゆかりのゲストを招いたトーク番組「ほんとわラジオ」の放送、文学館ニュースを年2回発行する。 新たな広報展開として、利用者サービスの充実を目的とした「セタブン特別パスポート事業(仮称)」を計画・実施する。	放送52回 各10,000部	通年	—

(7)財団共通

43

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
来館者サポート	来館者サポート	様々な状況にあるお客様の参加機会を増やすために、公演などにおいて来館者サポートを行う。 生活工房 ①車椅子の貸出 ②授乳室の設置 ③視覚・聴覚障害者等とともに映像を鑑賞するプログラムの企画・実施 ④「世田谷クロニクル」HPにて、音声による映像解説を公開 世田谷パブリックシアター ①託児サービス ②車椅子サービス(貸出、スペースの確保、車椅子昇降機など) ③視覚障害者のための音声案内システム付き化粧室の設置 ④視覚障害者のための舞台説明会(主催公演のみ) ⑤補助犬を伴っての観劇(スペースの確保など) ⑥聞こえにくい方向けのヒアリングサポートシステム(特定の公演のみ) ⑦聴覚障害者のための上演台本貸出 ⑧聴覚障害者のための手話動画(劇場HP)によるアクセス案内及びチケット購入方法等の案内 ⑨聴覚障害者のための筆談具設置 ⑩多言語字幕付き上演(特定の公演のみ) ⑪多言語情報発信 ⑫非常時の避難方法及び広域避難場所への地図の配布など 美術館 ①講演会での手話通訳 ②車椅子の貸出 ③ベビーカーの貸出 ④授乳室の利用など 文学館 ①車椅子の貸出 ②ベビーカーの貸出 ③授乳室の利用 ④託児サービスの実施など	—	通年	—
財団広報	せたがやアーツカード	世田谷区民を対象とする会員制度。主に財団主催の公演チケットの割引・先行発売や展覧会チケットの割引などの特典により、財団事業や施設利用者の拡大を図る。毎月1回、希望する会員にはメールマガジン配信による情報提供を行う。2023年度より財団ホームページ上よりWeb入会申込受付を開始する。	登録者数 19,000人	通年	—

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
財団広報	財団広報	財団ホームページ等により、財団及び事業内容等を紹介する。	—	通年	—
	せたがや文化・スポーツ情報ガイドの発行	財団各部の事業内容等を広く区民等に周知するため、(公財)世田谷区スポーツ振興財団と共同で毎月25日にタブロイド判の情報紙を発行、区内施設での配架の他、区報に同冊し新聞(6紙)折り込みも実施する。	毎月 185,300部	通年	—
文化芸術の拠点施設の管理運営	世田谷文化生活情報センターの施設維持管理 [指定管理]	世田谷文化生活情報センター施設維持管理、主劇場、小劇場、生活工房セミナールーム、ワークショップルーム等の貸出を行う。	—	通年	世田谷文化生活情報センター
	世田谷美術館及び分館の施設維持管理 [指定管理]	世田谷美術館及び3分館(向井潤吉アトリエ館、清川泰次記念ギャラリー、宮本三郎記念美術館)の施設維持管理、区民ギャラリー及び講堂の貸出を行う。 〈再掲〉	—	通年	世田谷美術館及び分館
	世田谷文学館の施設維持管理 [指定管理]	世田谷文学館の施設維持管理、講義室の貸出を行う。	—	通年	世田谷文学館
物品販売事業	生活工房事業関連商品の販売	事業に関連するグッズ、制作物等の販売を行う。	—	適宜	世田谷文化生活情報センター
	パブリックシアター関連商品の販売	世田谷パブリックシアターとシアタートラムで上演された公演のパンフレットや映像化したDVD等の関連商品を、劇場やオンラインショップにて販売する。	—	通年	世田谷文化生活情報センター
	美術館ミュージアムショップの運営	美術館・分館のミュージアムショップを運営する。収蔵作品をモチーフとしたオリジナルグッズ・絵葉書等の開発・制作及び販売、また企画展開催時における関連グッズ・絵葉書・書籍等の販売を行う。	—	通年	世田谷美術館及び分館
	文学館ミュージアムショップの運営	ミュージアムショップを運営する。オリジナルグッズの開発・制作及び販売、展覧会に関連した書籍や絵葉書等のグッズの販売を行う。	—	通年	世田谷文学館
飲食物提供事業	パブリックシアターのロビーカフェの運営	世田谷パブリックシアターのロビーのカフェを委託により運営する。	10,000人	通年	世田谷文化生活情報センター
	美術館のレストランの運営	世田谷美術館内のレストラン「ル・ジャルダン」を委託により運営する。	20,000人	通年	世田谷美術館
	美術館のカフェの運営	世田谷美術館内のカフェ「セタビカフェ」を委託により運営する。	30,000人	通年	世田谷美術館

収支予算書

1. 収支予算(損益計算書ベース)

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位:円)

科 目		令和5年度a	令和4年度b	増減a-b
I	一般正味財産の部			
1	経常増減の部			
(1)	経常収益			
	基本財産運用益	2,660,000	2,631,000	29,000
	基本財産運用益	2,660,000	2,631,000	29,000
	特定資産運用益	773,000	944,000	△ 171,000
	特定資産運用益	773,000	944,000	△ 171,000
	事業収益	1,514,977,000	1,230,508,000	284,469,000
	事業運営収益	768,670,000	671,404,000	97,266,000
	区事業等受託収益	746,307,000	559,104,000	187,203,000
	受取区補助金	1,280,041,000	1,345,167,000	△ 65,126,000
	受取区補助金	1,280,041,000	1,345,167,000	△ 65,126,000
	受取助成金等	162,417,000	170,823,000	△ 8,406,000
	受取助成金等	162,417,000	170,823,000	△ 8,406,000
	受取寄附金等	1,000,000	1,000,000	0
	受取寄附金等	1,000,000	1,000,000	0
	受取負担金	12,297,000	12,645,000	△ 348,000
	受取負担金	12,297,000	12,645,000	△ 348,000
	雑収益	119,000	126,000	△ 7,000
	受取利息	119,000	126,000	△ 7,000
	経 常 収 益 計	2,974,284,000	2,763,844,000	210,440,000
(2)	経常費用			
	事業費	3,041,849,000	2,824,524,000	217,325,000
	給料手当等	858,601,000	851,351,000	7,250,000
	退職給付費用	26,202,000	29,223,000	△ 3,021,000
	交際費	474,000	434,000	40,000
	式典費	698,000	1,037,000	△ 339,000
	会議費	843,000	837,000	6,000
	旅費交通費	6,218,000	6,511,000	△ 293,000
	通信運搬費	13,859,000	13,381,000	478,000
	消耗経費	36,702,000	35,745,000	957,000
	印刷製本費	51,962,000	45,818,000	6,144,000
	保険料	5,749,000	6,102,000	△ 353,000
	修繕費	31,308,000	31,417,000	△ 109,000
	光熱水費	10,130,000	10,184,000	△ 54,000
	諸謝金	52,407,000	44,132,000	8,275,000
	支払負担金	13,268,000	31,139,000	△ 17,871,000
	委託費	951,671,000	864,957,000	86,714,000
	使用料及び賃借料	63,929,000	59,748,000	4,181,000
	支払手数料	31,189,000	22,173,000	9,016,000
	広報宣伝費	93,083,000	88,999,000	4,084,000
	臨時雇賃金	95,036,000	92,137,000	2,899,000
	上演出演料	362,851,000	282,431,000	80,420,000
	舞台費	187,732,000	170,758,000	16,974,000
	制作企画費	74,104,000	70,430,000	3,674,000
	減価償却費	42,548,000	36,917,000	5,631,000
	商品仕入	9,430,000	8,910,000	520,000
	租税公課	21,855,000	19,753,000	2,102,000

科 目		令和5年度a	令和4年度b	増減a-b
	管理費	8,624,000	9,239,000	△ 615,000
	報酬	5,838,000	5,672,000	166,000
	給料手当等	2,093,000	1,996,000	97,000
	退職給付費用	66,000	750,000	△ 684,000
	通信運搬費	102,000	113,000	△ 11,000
	消耗経費	8,000	8,000	0
	保険料	15,000	15,000	0
	委託費	238,000	324,000	△ 86,000
	使用料及び賃借料	△ 343,000	△ 318,000	△ 25,000
	減価償却費	607,000	679,000	△ 72,000
	経 常 費 用 計	3,050,473,000	2,833,763,000	216,710,000
	他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 76,189,000	△ 69,919,000	△ 6,270,000
	法人税、都民税及び事業税	671,474	590,674	80,800
	当期一般正味財産増減額	△ 76,860,474	△ 70,509,674	△ 6,350,800
	一般正味財産期首残高	705,501,720	697,763,705	7,738,015
	一般正味財産期末残高	628,641,246	627,254,031	1,387,215
II	指定正味財産の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	805,844,000	805,844,000	0
	指定正味財産期末残高	805,844,000	805,844,000	0
III	正味財産期末残高	1,434,485,246	1,433,098,031	1,387,215

※ 令和5年度一般正味財産期首残高及び指定正味財産期首残高は、令和3年度期末の実績額と令和4年度の見込額に基づいて算出しているため、本表における令和4年度一般正味財産期末残高及び指定正味財産期末残高とは一致しない。なお、令和5年度一般正味期首残高及び指定正味期首残高を令和4年度予算の一般正味期末残高及び指定正味期末残高とした表は下記の通り。

科 目		令和5年度a	令和4年度b	増減a-b
	当期一般正味財産増減額	△ 76,860,474	△ 70,509,674	△ 6,350,800
	一般正味財産期首残高	627,254,031	697,763,705	△ 70,509,674
	一般正味財産期末残高	550,393,557	627,254,031	△ 76,860,474
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	805,844,000	805,844,000	0
	指定正味財産期末残高	805,844,000	805,844,000	0

2. 収支予算内訳表(損益計算書ベース)

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業	
I	一般正味財産の部			
1	経常増減の部			
	(1) 経常収益			
	基本財産運用益	0	0	0
	基本財産運用益	0	0	0
	基本財産運用益	0	0	0
	特定資産運用益	773,000	0	773,000
	特定資産運用益	773,000	0	773,000
	特定資産運用益	773,000	0	773,000
	事業収益	1,480,761,000	316,000	1,481,077,000
	事業運営収益	734,454,000	316,000	734,770,000
	事業運営収益	734,454,000	316,000	734,770,000
	区事業等受託収益	746,307,000	0	746,307,000
	指定管理受託収益	645,030,000	0	645,030,000
	区事業受託収益	101,277,000	0	101,277,000
	受取区補助金	1,237,239,000	42,802,000	1,280,041,000
	受取区補助金	1,237,239,000	42,802,000	1,280,041,000
	受取区補助金	1,237,239,000	42,802,000	1,280,041,000
	受取助成金等	162,417,000	0	162,417,000
	受取助成金等	162,417,000	0	162,417,000
	受取助成金	162,417,000	0	162,417,000
	受取寄附金等	1,000,000	0	1,000,000
	受取寄附金等	1,000,000	0	1,000,000
	受取寄附金	1,000,000	0	1,000,000
	受取負担金	6,023,000	0	6,023,000
	受取負担金	6,023,000	0	6,023,000
	受取負担金	6,023,000	0	6,023,000
	雑収益	119,000	0	119,000
	受取利息	119,000	0	119,000
	受取利息	119,000	0	119,000
	経常収益計	2,888,332,000	43,118,000	2,931,450,000

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
0	0	0	2,660,000		2,660,000
0	0	0	2,660,000		2,660,000
0	0	0	2,660,000		2,660,000
0	0	0	0		773,000
0	0	0	0		773,000
0	0	0	0		773,000
30,717,000	3,183,000	33,900,000	0		1,514,977,000
30,717,000	3,183,000	33,900,000	0		768,670,000
30,717,000	3,183,000	33,900,000	0		768,670,000
0	0	0	0		746,307,000
0	0	0	0		645,030,000
0	0	0	0		101,277,000
0	0	0	0		1,280,041,000
0	0	0	0		1,280,041,000
0	0	0	0		1,280,041,000
0	0	0	0		162,417,000
0	0	0	0		162,417,000
0	0	0	0		162,417,000
0	0	0	0		1,000,000
0	0	0	0		1,000,000
0	0	0	0		1,000,000
336,000	5,938,000	6,274,000	0		12,297,000
336,000	5,938,000	6,274,000	0		12,297,000
336,000	5,938,000	6,274,000	0		12,297,000
0	0	0	0		119,000
0	0	0	0		119,000
0	0	0	0		119,000
31,053,000	9,121,000	40,174,000	2,660,000		2,974,284,000

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業	
(2) 経常費用				
	事業費	2,962,922,000	43,128,000	3,006,050,000
	給料手当等	830,508,000	26,782,000	857,290,000
	退職給付費用	26,202,000	0	26,202,000
	交際費	464,000	10,000	474,000
	式典費	698,000	0	698,000
	会議費	843,000	0	843,000
	旅費交通費	6,132,000	86,000	6,218,000
	通信運搬費	12,250,000	171,000	12,421,000
	消耗経費	33,978,000	1,649,000	35,627,000
	印刷製本費	51,711,000	51,000	51,762,000
	保険料	5,646,000	103,000	5,749,000
	修繕費	31,008,000	300,000	31,308,000
	光熱水費	3,930,000	0	3,930,000
	諸謝金	51,364,000	1,043,000	52,407,000
	支払負担金	12,858,000	410,000	13,268,000
	委託費	929,419,000	10,254,000	939,673,000
	使用料及び賃借料	61,930,000	1,042,000	62,972,000
	支払手数料	28,491,000	0	28,491,000
	広報宣伝費	92,870,000	209,000	93,079,000
	臨時雇賃金	94,064,000	972,000	95,036,000
	上演出演料	362,851,000	0	362,851,000
	舞台費	187,732,000	0	187,732,000
	制作企画費	74,104,000	0	74,104,000
	減価償却費	42,017,000	46,000	42,063,000
	商品仕入	0	0	0
	租税公課	21,852,000	0	21,852,000

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
28,959,000	6,840,000	35,799,000			3,041,849,000
1,029,000	282,000	1,311,000			858,601,000
0	0	0			26,202,000
0	0	0			474,000
0	0	0			698,000
0	0	0			843,000
0	0	0			6,218,000
1,330,000	108,000	1,438,000			13,859,000
1,025,000	50,000	1,075,000			36,702,000
200,000	0	200,000			51,962,000
0	0	0			5,749,000
0	0	0			31,308,000
241,000	5,959,000	6,200,000			10,130,000
0	0	0			52,407,000
0	0	0			13,268,000
11,998,000	0	11,998,000			951,671,000
923,000	34,000	957,000			63,929,000
2,698,000	0	2,698,000			31,189,000
0	4,000	4,000			93,083,000
0	0	0			95,036,000
0	0	0			362,851,000
0	0	0			187,732,000
0	0	0			74,104,000
82,000	403,000	485,000			42,548,000
9,430,000	0	9,430,000			9,430,000
3,000	0	3,000			21,855,000

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業	
	管理費			
	報酬			
	給料手当等			
	退職給付費用			
	通信運搬費			
	消耗経費			
	保険料			
	委託費			
	使用料及び賃借料			
	減価償却費			
	経 常 費 用 計	2,962,922,000	43,128,000	3,006,050,000
	他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 74,590,000	△ 10,000	△ 74,600,000
	他会計振替額	2,136,753	0	2,136,753
	法人税、都民税及び事業税	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	△ 72,453,247	△ 10,000	△ 72,463,247
	一般正味財産期首残高	560,966,789	7,739,518	568,706,307
	一般正味財産期末残高	488,513,542	7,729,518	496,243,060
Ⅱ	指定正味財産の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	0	0	0
	指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ	正味財産期末残高	488,513,542	7,729,518	496,243,060

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
			8,624,000		8,624,000
			5,838,000		5,838,000
			2,093,000		2,093,000
			66,000		66,000
			102,000		102,000
			8,000		8,000
			15,000		15,000
			238,000		238,000
			△ 343,000		△ 343,000
			607,000		607,000
28,959,000	6,840,000	35,799,000	8,624,000		3,050,473,000
2,094,000	2,281,000	4,375,000	△ 5,964,000		△ 76,189,000
△ 1,022,650	△ 1,114,103	△ 2,136,753	0		0
321,405	350,069	671,474	0		671,474
749,945	816,828	1,566,773	△ 5,964,000		△ 76,860,474
121,894,178	15,395,086	137,289,264	△ 493,851		705,501,720
122,644,123	16,211,914	138,856,037	△ 6,457,851		628,641,246
0	0	0	0		0
0	0	0	805,844,000		805,844,000
0	0	0	805,844,000		805,844,000
122,644,123	16,211,914	138,856,037	799,386,149		1,434,485,246

その他の付属書類

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

借入の予定		あり	○	なし
事業番号	借入先	金額	使途	

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		あり	○	なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の使途	

令和5(2023)年3月31日発行

公益財団法人 せたがや文化財団

〒154-0004

東京都世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー5F

TEL 03-5432-1501 FAX 03-5432-1559

MAIL jimukyoku@setagaya-ac.net

URL <https://www.setagaya-bunka.jp>

*この冊子はリサイクルできます